

MEMORE

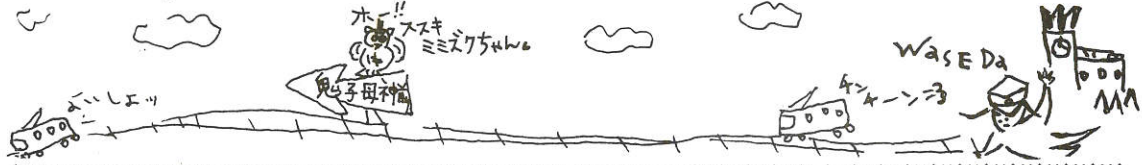
メモア

1987春 NO.3 女性エディター&ライター教室実習誌



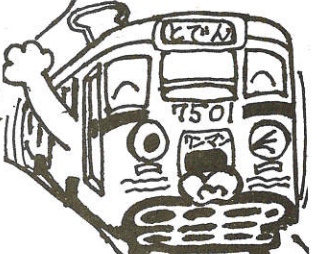
花の大江戸探検隊 都電 荒川線の巻(付・沿線情報)	2
《4つのコラム》・シングル&ダブル/ビリヤードについて	
書けない理由/春の散歩/上手ないじわるの仕方	6
《イラスト2点》 7/1枚の写真をめぐって	8
荻窪タウンウォッチング	9
人の心を動かすのは汗と努力とハート 松江陽一氏に聞く	10
千年COMETS登場 / あなたのバイク度チェック	11
ホコ天のフレッシュアップ…十六夜組	12
スターを育てる〔芸能仕掛人〕 布瀬達弥氏	13
別れは女を美しくする (5つのミニミニストーリー)	14
あなたは女流作家になれるか 40のドラマチックな質問	17
十人十色まなざし美人 18/ 不離婚のすすめ	19
フェミニストをめぐる冒険	20
《男だって…男だから…》〔流行仕掛人〕 遠藤博行氏に聞く	22
人気のプレイスポット 23/ 流行のビリヤード探訪	24
ブームに火をつける…男の化粧法を診断	25
編集後記ひとこと集 26/ 講師から	27





花の大江戸探検隊

都電 荒川線の巻



ちんちん電車のあいきつ
早稲田から三ノ輪橋まで、走りつづけて四十五年……。仲間もほとんど去ってしまい、路面電車も今では、私を残すだけ。一本になって、もう十一年経つけれど、三年前から冷房もつけて、これでも結構がんばっているつもり。

だけど本当に、最近車が多いねえ。仲間が職を失ったのもそのせいだったけれど、スピードの影になって見えなくなってる、大切なものを忘れないでほしいよね。

道すがら、二回JRと顔を合わせるけど、いつも忙しそう。高い路線から見下ろしていた街も、ちょっとしたんびり、街と同じ目線で眺めてみると、また違った面が見えてくるんじゃないかなあ。

あ、でも時間はもちろん厳守してますよ。のんびりとルーズは違います！ 朝は五時半に車庫を出て、夜は二十時半に帰って来るまで、平均五分間隔で運行。どこまで乗っても、一回一四〇円。今日は無料サービスしちゃいますから、荒川線で心の旅、してみてください。

街の雑踏の中で、フト自分は何なのだろうと思うことがありませんか？ わき目も振らずに足早に歩いているあなた、のんびりとした都電の快い揺れに身も心も任せてみると、新しい自分を発見するかもしれませんよ

素顔のまま
線路の向こうに夢がある

靴なんか脱ぎ捨て
細い線路の上を歩いて行けば
どこまでも 道は開ける

歩みを止めて
ほてった耳を冷たい金属に寄せれば
懐かしいせせらぎの音
そっと口づけすると
セピア色したビー玉の味がした

いつまでも立ち止まっていけないで
前進！ 前進！
紅いルーージュや 蒼いシャドー
そんなお洒落はいらない
生まれた時は裸だったじゃないの
時計も ベルトも投げ捨てて
カーディガンなど肩に
素顔のまま歩いて行こうよ

*
スピード時代をも無視して、のんびりマイペース、今も思づく都電・荒川線。車や人が通れば、それが通り過ぎるまで停車する、というお人好しぶり(?)。余裕さえ感ずるその風格に敬意を表しつつ、まずは気楽で小さな旅の始まり始まり……。



チンチン。ガグウーン。走り出す。ロボットさながらの女性のアナウンスがときどき流れて、走り出したかと思うと、すぐに停車する。

「狭い日本、そんなに急いでどこへ行く」そんな標語はここでは当てはまらない。何度も古いアパートの軒先をかすめて走るから、アパートの住民に「お騒がせしてごめんなさい」と頭を下げたくなる。

心に外国映画のすてきな風景を思い浮かべると、ゆらゆらと小舟が恋人たちを乗せて流れて行く、のどかでロマンチックなシーンだ。

そのとたんに停車の反動で白日夢から覚めれば、そこは洗濯物のひるがえる、生活の匂いあふれる風景だ。そこで慌てて、鬼子母神前下車。

まず、匂いにつられて横町の焼き鳥屋さんへ。レバーにねぎまに、タンに



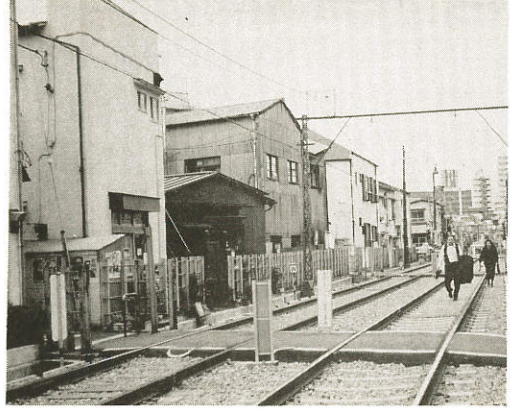
ハツ。どれもこれもみなおいしくて、ペロリ。

次は目の誘惑に負け、店先にきれいに並べられた和菓子をお取り。そのお店のお婆さんがとてもいい人で、話にえんえん花が咲く。たまたま、隣の食堂も経営しているというので、野次馬精神でのぞいてみたら、お腹が正直にグー。

仕方がないので、どんぶりごはんを詰め込んで、さすがにお腹がいっぱいで、あー幸せ！ 色気よりも食い気と深く反省したが、それにしてもよく入るのにならながら寒心。

早稲田から大塚までの道のりは、あっとい間だった。

どこへ行っても飾り気のない素顔の町並みを、ぼんやり顔の小さな箱が走り続ける。

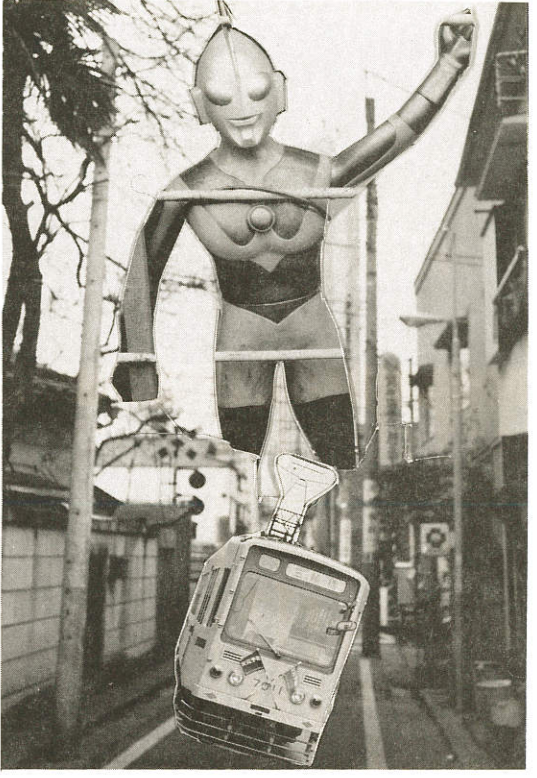


午後になって降り出した冷たい雨が雪に変わり、曇った窓を指先で拭く。新庚申塚駅にて下車、旧中仙道(国道17号線)をまっすぐに果鴨方向へ。突然、広い市場が現われたものの、霊園の所在はわからず、来た道を戻って八百屋の店先で尋ねると、「チカンが出るよ」とニコニコ顔で脅される。

「出るなら出てみる」と17号線をガソリンスタンドで左折。降りしきる雪が傘を重くする。振り払い、振り払いながら路地を進むと……。

低い塀の向こうには所狭しと並んだ墓石の群が一面に。適当な起伏の上に広がる樹々と墓石――。

角ごとには、住居表示のような、符



ソメイヨシノに雪が降る

丁のような道標まである。どの墓石も春の雪を抱いて、黙ってこちらを見ています。

ここには高村光太郎・智恵子、芥川龍之介、二葉亭四迷、山田美妙ら文豪が多く眠っている。

春になると、ソメイヨシノが美しいという。江戸の昔、このあたりが染井村と呼ばれていた頃、在住の植木職人がソメイヨシノを品種改良した「ソメイヨシノ発祥の地」なのだ。

「ただど戦災で記録が焼失しちゃってるから、どの樹をいつ植えたかはわかりませんねえ」とは霊園管理人の話。ここに眠る人の中に、「桜吹雪」で有名な、あの遠山金四郎がいるのも面白い。

●線情報

- 【早稲田】
 - 【演劇博物館】 ☎二〇三―四一四一 早稲田大学構内西側。
 - 坪内逍遙の業績を記念し、昭和三年に創立。シェイクスピア時代の劇場フォーチュン座の造りを模したといわれる。逍遙の遺品、演劇に関する資料が保存されている。
 - 【デリポケット】 ☎二〇五―八八六九 井ものおしゃれなファーストフードの店 味噌汁一杯八〇円からいろいろ。
 - 【面影橋】 太田道灌名残の山吹の里の地。近くに「関口芭蕉庵」、「新江戸川公園」がある。
 - 【雑司ヶ谷】
 - 【雑司ヶ谷鬼子母神】 寛文六年(一六六六年)に建てられたという。境内に幹回り八メートル、高さ三〇メートルの樹齢五〇〇年の大イチョウも残っており、都の天然記念物で(子授けイチョウ)、(子育てイチョウ)として信仰の対象となっている。「スキミミズク」東京都の伝承玩具として有名。
 - 【お会式】 十月十二日、日蓮上人の命日に集まる万灯行列。
 - 【雑司ヶ谷霊園】 明治七年に創設された都の共同墓地。夏目漱石、島村抱月、永井荷風、小泉八雲、中浜万次郎、竹久夢二などの、著名人が多数眠っている。
- 約二十年前、都電乗車賃が二十円



チン、チンと元気のいい音を響かせて、都電は王子の街を後に、さらに下町へ向かう。

地方の商店街を〇〇銀座などというけれど、王子から二つめの梶原にもあった。ここ梶原銀座には、これなくしては都電を語れないというシロモノがある。三田佳子や山口いづみも食べたという「都電モナカ」がそれ。これを売っている「明美」のおかみさんは、都電について「商売の神様ね！」と言う。そりゃそうでしょう。

都電についてもっと詳しく知りたいという方は、荒川車庫前で降りるといい。荒川電車営業所には、都営線に関するパンフがそろっている。これさえあれば、一日フリーパス券もバッチリ使いこなせる。

下町で忘れてならない名物「もん



そして巣鴨の看板、とげぬき地蔵尊の高岩寺へ。通りすがりの人に道を訊くと、雪の中、足を止めてまで教えてくれる。17号線を反対側に渡ると、すぐ地藏通り商店街に出る。

下町情緒あふれる店先を行くと、香の煙が漂ってくる。夕闇の中、たくさん提灯が私たちを迎えてくれた。

毎月「四の日」の縁日は人で埋まる境内も、さすがに雪のこの日はかりは人影もまばらで、提灯の明りだけが華やいで見える。冷えた手を香炉にかざし、香煙を体にこすりつける。

「お地藏さんの次は、お汁粉で一息つこうね」と、地藏通り商店街を庚申塚駅方向へ。

駅から数十メートルというところで

入ったのは、ごく普通の女学生御用達風の「和作」というお店。残念ながらお汁粉はなかったけれど、お店の自信作は、女性の握りこぶしほどもある！ポタ餅が二個で、三〇〇円。ナントお茶、口直し付きである。24時間営業のこの店は、実はタクシートの運転手さん御用達でもある。気持のいい店員さんに迎えられる、冷え切った足をストレープの前に投げ出してしまった。

そして最後、駅名由来の庚申塚は、江戸時代に次の宿への休息地として設けられて、庚申の日（六十日に一度）に市が立った。

本尊の猿田彦にちなみ、狛犬ならぬ狛猿がちよこんと、帰途につく私たちを見送ってくれた。



じゃ焼き」がこの都電沿線にもある。熊野前にある「なんじやもんじや豊洲」と「川上」がお勧めの店。わざわざ早稲田あたりからも食べに来る人もいるとか。

自然食等に興味のある人は、東尾久三丁目にある無農薬野菜の店「お八百屋」に行ってみるといい。お箸で黄身がつまめる有精卵も売っている。

休日の一日をのんびり過ごしたい人は、荒川二丁目の「荒川自然公園」へどうぞ。テニスコートや野球場もあるから、弁当でも持って、日頃のストレスを解消しよう。

早稲田から約一時間、終点の三ノ輪橋。ここでぜひ足を運んでほしいのが延命寺の首切地蔵。江戸時代の怖い小

大塚で下車。大通りを歩行すると、「日本髪を結った芸者さんが行き来して、風情がありましてね。ご存知じゃないでしょうね、若い方には。三業といって料亭や芸者屋、京都の舞子さんのようなものですが、にぎやかでしたのよ」

柳の細くゆれる枝を指しながら「ほら、ここの柳も五、六月頃になるとそりゃ美しいですよ」とソフトな口調が印象深く心に残る、身のこなしも粋な初老の女性を想いつつ、大衆割烹「竜の子」で日本酒をいただく。一日フリーパス券を購入、都電・都営地下鉄・都バス等、

一枚の券で一日中自由に乗り降りできる。灯火が遠くになつたり近くなつたりして四十分経過、三ノ輪橋に着く。下町の情緒と浅草的ムードだ。「草加せんべい」の古い書体の看板、黄金焼き「ふるさとの味・ちえば」が印象的だ。

カーブを走ると車体が倒れるのではと不安になる。ゆっくり走る姿は幼子を連想してしまう。低くて小さくて、改札口がなく、すぐ乗れる親しみのいい電車である。殺気立って勢いよく去ってしまうことのないやさしさが、街のネオンの中へ小さく消えて行く。



都電はまたJRの下をくぐり抜け、次なる駅は王子。見過ごしがちであるが、この周辺には結構面白いものがあって、ちらっと途中下車してというよりは、一日お散歩コースとしゃれしてみたいところ。

まずは「紙の博物館」で、日頃あまり気にもとめない紙の歴史にふれてみる。知識が少し加わったら、お次は歩道橋を越えてみる……

するとそこは飛鳥山公園。桜が満開だったらずれば、気分も最高！展望台で物思いにふけるもよし、紙に命を賭けた男たちのロマンに浸るもよし。公園の裏側まで来て現実に戻ると、そこにあるのは「渋沢史料館」。栄一の事績を物語る図書にふれ、文学少女を気どりつつ、洋風茶室「晚香廬」でちょっと一服してみようか。

お嬢様気分をひきずりつつ、本郷通りを駒込方面へまいりますと、きわめつけの旧古河庭園。目の中に星が輝くルネッサンス風洋館にバラの花園、大正ロマネスク風の日本庭園、茶室。さて、あなたはどちらがお好き？

重い腰を持ち上げ、今来た道を逆戻り（お疲れの方は、都バスをご利用ください）。王子駅を通り過ぎ、さらに北に入ると、なんと滝があるのです。正式には、名主の滝公園。日頃のストレスもふっとぶ爽快さ。スキリさわやかにになったら、下町へ向かってレッツゴー！

夜の都電で新発見

体が倒れるのではと不安になる。ゆっくり走る姿は幼子を連想してしまう。低くて小さくて、改札口がなく、すぐ乗れる親しみのいい電車である。殺気立って勢いよく去ってしまうことのないやさしさが、街のネオンの中へ小さく消えて行く。

- 【荒川車庫前】
- 【都電貸し切り電車】
- 東京都交通局荒川電車営業所
- 〇八九三〇七四五〇〜一
- 三ノ輪橋〜早稲田間の片道、約50分。定員52名迄。1万2千円
- 都バスマップも便利
- 【荒川遊園地前】
- 【あらかわ遊園】区立公園
- 植物豊富。大人〇五〇円 月休
- 【東尾久三丁目】
- 【お八百屋】〇八〇九二二四七九
- 無農薬野菜の店
- 【熊野前】
- 【豊洲】〇八〇〇〇七六六四
- もんじゃ焼き〇三〇〇円
- 【川上】〇八七九一四〇〇四
- お好み焼き〇二五〇円から
- 【荒川二丁目】
- 【荒川自然公園】〇八〇二二二二二
- 自然公園の他に野球場・テニスコートなどあり、要予約
- 【三ノ輪橋】
- 【重盛商店】〇八〇一〇六八三〇
- 下町名物の人形焼きは絶品
- 【ラタン工芸原木】〇八〇五一一九
- 一二
- 伝統工芸産業指定の藤工芸家・原さんの店
- 【みその小鳥】〇八九一一四九五五
- 全国の味噌各種。茗荷の味噌漬はおいしい！

- 【飛鳥山】
- 【渋沢史料館】〇九一〇〇〇〇五
- 徒歩4分、10時〜16時、日・祝日と12月20日〜1月10日休、三〇〇円
- 【上中里JR】
- 【旧古河庭園】〇九一〇〇〇三九四
- 徒歩約7分、9時〜17時、月休、一〇〇円
- 【王子】
- 【紙の博物館】〇九一一一三五四五
- 徒歩3分、9時〜16時30分、月・祝日と年末年始休、二〇〇円
- 【名主の滝公園】徒歩12分、4月20日まで改築工事で休園
- 【梶原】
- 【明美】〇九一九二二三五四
- 都電モナカはお土産に是非。要予約

シングル & ダブル

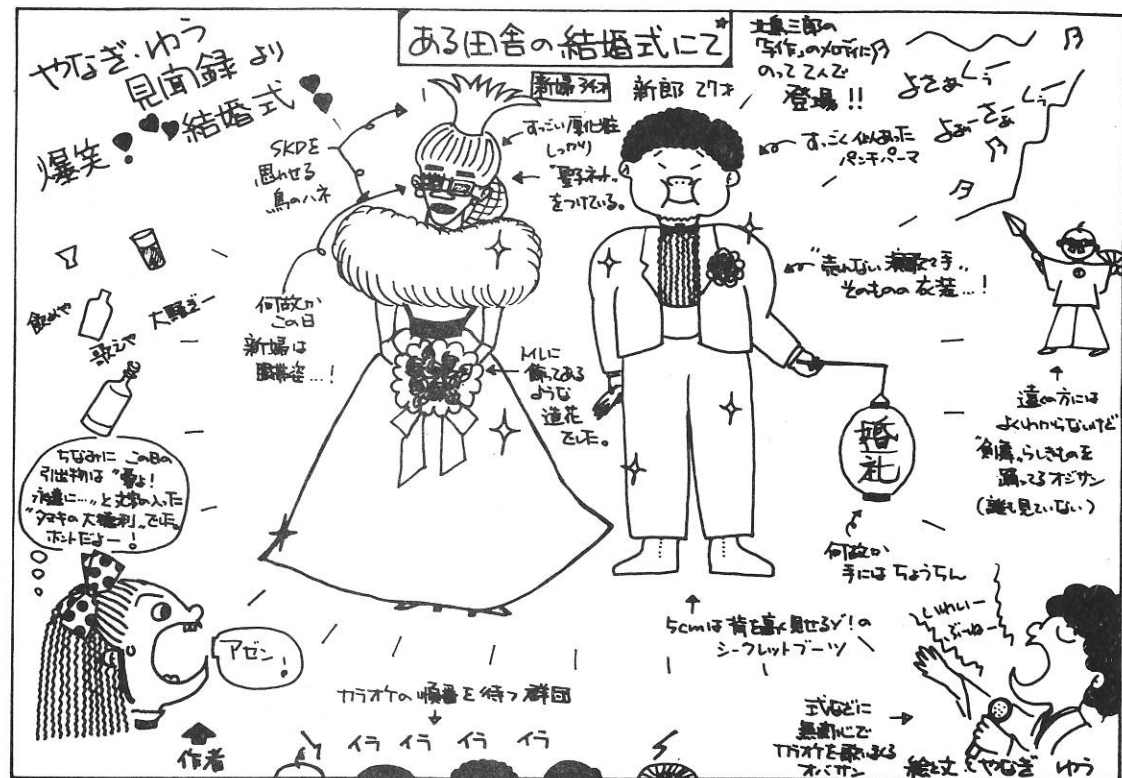
平野ゆり

「シングル & ダブル」
I・W・ハーバーをダブルのオンザロックスで...

「ビリヤードについて 書けない理由」

国田智子

「ビリヤードのトーナメントに初出場した体験」...



春の散歩

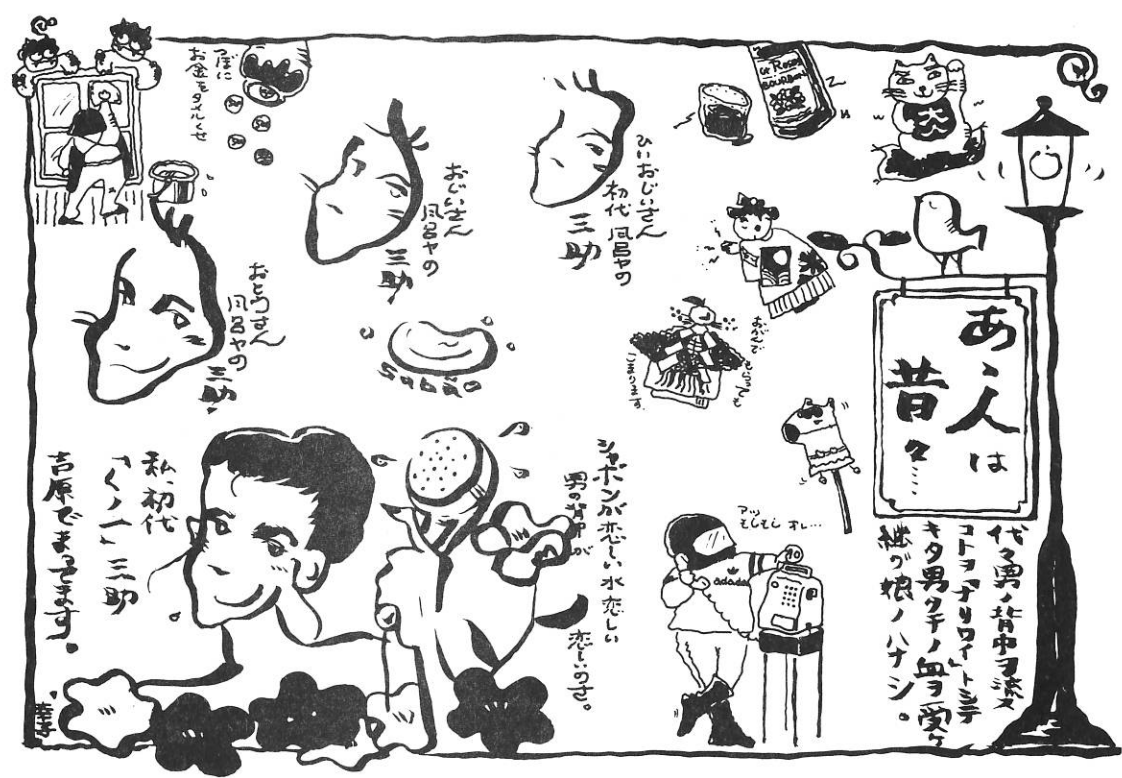
岡田比呂実

「横浜市民の森」の小山に登った。
小山のてっぺんはともに見晴らしが...

上手ないじわるの仕方 PART ①

山羊チエミ

ここに四十才の女性がいます。白髪もちらほらみえてきた。夫はタクシートの運転手...



登ったのと逆の斜面を下ると小さな野原が広がる。...

登ったのと逆の斜面を下ると小さな野原が広がる。頬かぶりのおばさんが二人、のどかにヨモギ摘みをしていた...

「掃除もきちんと済ませておく。男子社員にはニコリあいさつする。彼女達にはそれとなく済ませます。お昼は二時頃まで食べないで、彼女達がゆっくり食事をする時、さも忙しそうに立ち歩く。おかげで男子社員には「お昼も食べずによくやるなあ。」社長には「我が社になくてはならない人。」との評判。一方、彼女達のミスは決して見逃さない。それとなく周りに公表し、一人だけ呼び出して嫌味をたっぷり言う。もし謝まっても許さない。これで一人は辞めて行った。あと一人。これからは、おばさんの腕の見せ所。」

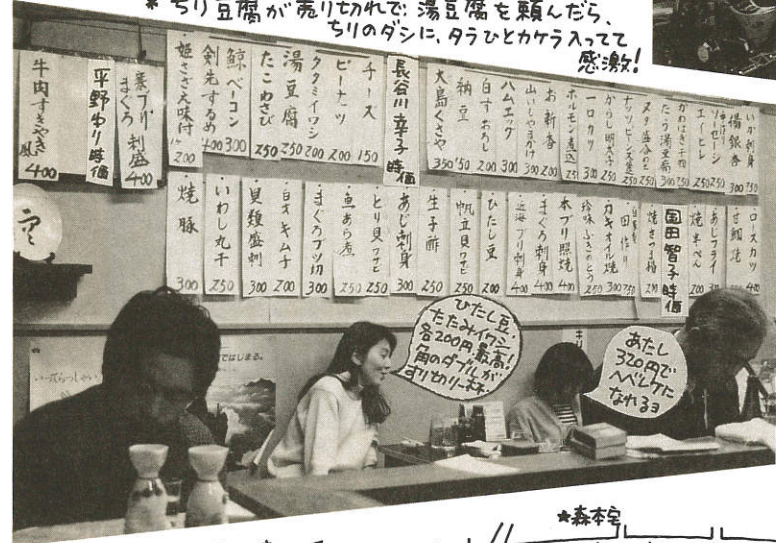
独断と偏見の
荻窪タウンウォッチング
取材：園田智子・長谷川幸子・平野ゆり

①カミヤサカバ。安いうまい、渋い。



某日、晴天。屋に集合した怪しい女3人組は、神谷酒場でサラシ焼肉ランチ550円を食べて、ウォッチングに出発。怪しい建物に勝手な想像を述べ、静かな庭園⑥大田黒公園(無料、子供だけ入園不可、乳母車置場、池、洋館あり)でなごみ、また歩き、日が落ちて再び神谷酒場へ。君知るや、夢のカクテル電気ブラン160円と黒ビール300円を乾杯。フキノトウ250円、揚銀杏300円、梅酒150円、ワイン190円……と続き、ナッツがサーブスで出て、ほとんど、原稿完成祝いの気分でお酒3人であった。

「おぼろげな草にもカミヤサカバ、アホなサラーマンには、笑ってました。」



←荻窪の航空写真の上に、ゴハンものメニューが入った額。
お酒は表面張力でつく世界です。

←コの字型カウンター内に、おぼろちゃん2人。外は、おぼろちゃんがホテル持ってつぎに来る。

←これは全体の1/10です。焼酎20%150円、25%160円、35%220円。藤本村のにごり酒200円...
半敬語は、中央線から丸の内線、新宿から約12分です。



PHOTO by HIRANO



会社の帰りキヨスクで夕刊を買うのが習慣であった。三十七才、会社員。夕刊に手をのばしてギョッとした。男性週刊誌の表紙は、超ビキニの娘ではないか。ばかな、きょうが娘の四回目の誕生日の筈だ。その証拠にこうしてパースデーケーキの箱を抱えているではないか。十八、九の女が何故娘に見えるんだ。

だめだ俺は疲れている。昼からの会議あれは何だ！我々の企画は部長の一言でボシヤになった。毎晩遅くまでかかって繰り返した企画だった。視界にはキヨスクだけがスポットライトを浴びたように写った。やっぱり変だ。タイムスリップ？未来のキヨスクには見えない。昨日と同じだ。十五年も経っていたら「キヨスク」なんてチンケな名は消えていてもいいし。出がけにプレゼントをねだった娘は妙に媚びをおび、妙な不安がよぎった。いろいろな試行錯誤と共に奇妙な感情が、ぐるぐるの頭の中を駆けめぐった。「お客さん終点ですよ。」遠くの方で声がした。(横倉由紀)

1枚の写真をめくって



十一歳、夏、初めての一人旅。「じゃあ、気をつけて、よく考えて行きなさい」。駅まで送ってきた父親は、そう言って案外あっさりとした姿を消してしまっただけ。少女の胸は、期待と、そしてそれより大きな不安とで高鳴っている。O駅とM駅とで二度の乗り換えをしなければならぬ。列車が止まるたび、乗り換え時間と列車名を書いたメモを取り出して眺めるのだった。窓からは心地よい風が入り、松林の切れ間に海の色が見え隠れするのだが、少女は全く気が付かない。

「次はK駅、K駅、五分間停車いたします」。少女の座っている窓が、ちょうどキヨスクのまん前にきた所で列車は止まった。そこには魅力的なものがひしめいていそう。少女は思い切って席を立ち、白い霜に包まれた氷の果実をみつけた。「冷凍のおみかんをください。」その凍った果実が、さきほどから踊りっぱなしの心臓を静める魔法の球に思えたのだ。少女は再び席にもどると、ゆっくりと解けていくオレンジ色の果実を見つめた。(比)

(?)は、一躍クラス中に有名になった。彼女の家は三鷹。J君は、デートの帰りにいつも、新宿駅から彼女を中央線に乗せて、ホームでその電車が見えなくなるまで律儀に手を振り見送った。その日。いつものように、中央線に彼女を乗せたJ君は、ゆっくり走り出す電車の彼女に手を振った。彼女もまた、かわいい笑顔で手を振り返す。嬉しくなって走りながら手を振り続けるJ君。加速する電車、加速するJ君の瞬間。J君はホーム中央の「Kiosk」に突進、新聞と週刊誌にまれ、哀れにもがいていた。翌日、すり傷だらけのJ君に、彼女は「あなたと付きあうと、疲れるの。」と言って、去った。(柳遊)

上野駅のキヨスクには、毎日お世話になっている。けれども、あのお姉さんの名前は知らない。だって、電車が出るまでに、一冊の雑誌と適当な飲み物を買って、おつりを確実に、貰っておかなくてはならない。できれば、ゆっくり座って居眠りもしたい。事務的な金銭授受のくり返し。実にせかせかせした職場である。売店の主であるお姉さんは、lavatoryもめったに行けない。時給も決して高くない。代りがいないから休めない。たまに暇な男性が、話しかけてくる。これまた、全く若くない。愛想をふりまくるにも疲れてしまった。が、しかし、やっぱり、お姉さんは毎日頑張っている。「お姉さんいくつ? 独身?」若くはない男性が聞く。「三十。独りだったからこんな箱飛びだして、いい男にくっついて青森まで行っちゃうよ。アッハハハ。」お姉さん(?)は、夫とキヨスクとことん惚れてるらしい。(山羊チエミ)

汗と努力とハートだね…

INTERVIEW

黒澤明等の助監督を経て、同監督のアカデミー受賞作「デルス・ウザーラ」をはじめ、数多くの作品をプロデューサーとしてこられた松江氏。現在は四十一工房を率い、世界最長上演記録を持つオフ・ブロードウェイ・ミュージカル「ファンタスティックス」の日本公演を企画・製作。第六回紀伊国屋演劇賞に輝く。そんな氏が、日本・スウェーデン合作映画の準備で渡欧を控えたお忙しい時間をさいて、プロデューサーとは如何なる仕事かを、他のスタッフとの関係や、比較を交えながら語ってくれた。

僕たちは人間を通してものを作っていく…

まあ、職能的に細いことを言いたせば切りがないけれど、監督といい、助監督といい、プロデューサーといい、全員が一つになって映画でも演劇でも作っていくわけだから、作り手として若干の違いはあれ、同じようなものだと思うよ。だいたいスタッフに共通して言えるのは、いっさいの色々な雑用のエキスパートに徹することだね。

助監督といえども本当に何かから何もやらなければならないし、製作助手というのがこれまたしかり。で、どこかやはりオーバー・ラップしているから、あまりその仕事の中味は明確に分けられない。製作助手と演出助手との違う点はきつとその演出家、つまり監督とプロデューサーがどういった仕事をしているか、そこで判断できると思うね。

例えば、戦争を知らない世代にはわかりづらいかも知れないけども、監督とか演出家ってのはものを作っていく一つの場での最高司令官だね。演劇でも演出家はクリエイティブな部分、つまり創造していく部分でのリーダーで

あり、映画でいうなら撮映するとか、あるいは準備も含めて監督がそういう部分を創造していく。作り手たちのリーダーとなる。だからそういう創造の場では、一番作るということにはつきりした意見をもっていくだろうし、皆を引っぱって

ただ、ともすれば僕は野戦軍の司令官と呼んでるけれど、戦争でも、あるいはスポーツでも、いい、団体競技をやっているその実際の場でも指導者という

か、リーダーが要るよね。これはただ創造的な部分だけのリーダーじゃなくて、映画とか演劇の場合、作り手は全て人なんだよ。人間なわけ。その人間を通してものを作っていくんだから、何十人というスタッフの力を抽出してものを作っていく場に集中させなければいけない。色々な人間という作り手たちの媒体となって、全力を出させて



昭和29年東大卒。33年、東宝ニューフェイスとして俳優を志したことも

いく作業というか能力が意外と大切になる。ただ創造的なものだけが閃いていけばいいわけじゃない。それはひとりの頭の中だけにあることだし、実際に手を使い、足を使い、駆けて行った汗を流したりするのはたたくさんの他の人間たちなんだ。その人たち全部を同じ方向に向けていく指導力・統率力、これが大事なことになるんだ。

それが僕の仕事：プロデューサーの方はどうかという

と、やはり作る仕事ではある。文字通りプロデューサーする人。ただ、ものを作っていく過程で芸術的な部分だけがどんどん先行してしまうと、独走し過ぎるといえるか、それを見る人、もっとより一般的な人たちがいてくれなきゃ何にもならないよね。いいお芝居を作っても舞台の上で演じて、大ぜいの観客がそこにおいて初めて成り立つ。映

画でも同じ。映画館に行っても、そこがガラーンとして映写機だけがカラカラ回っている、これでは全く意味がない。客席に座って見ている、見て何かを感じ合っている、通じ合っている、流の場が作り上げられていく。そうした見る人との交流の場を作ることを心がけていくのがプロデューサーの役割なわけだ。作品をどこへ持っていくかはそれが出来上ってから考えていたのでは仕様がな。作っている間中そういうことをずっと考えながら、我々みんなで作っていく。見る人たちとの接点を持てるかどうかをきちんと考えていく。そこで監督と話し合いながら物事を進めることになる。たくさんの人に見てもらう為に宣伝を打ったり、広告、キャンペーンもなければいけない。劇場の確保も必要だ。TVコマーシャルを作るのなんかプロデューサーの仕事。

そういう風に大別すると二つの違いはあるけれど、人間がものを作っていく仕事をしているわけだから、プロデューサーもやはり人を使っていくときの指導力なり、統率力が必要なんだ。製作資金の調達だって、そんな渾大なお金が道端にころがっているわけがない。どうやってそれを見つけて出すかって？「ハート」。やっぱり汗と努力じゃないかな。どれだけそのものを作りたいかを如何に訴えるかの想いと情熱とかが相手に伝って、初めて可能になることなんだよ。(二月二十五日夜、都内ホテルにて)

実力ロックバンド

千年COMETS

日本でも、やっと「ロックバンド」というものが陽の目を見るようになってきたこの頃、また一つ今後大いに期待できるバンドがデビューした。その名も「千年COMETS」。

'85のCBSソニーオーディションで優秀賞を受賞した高鍋千年(ボーカル)を中心に、ベースは川上シゲ、ドラム・チャッピー、キーボード・海老芳弘と、それぞれが多くのセッションを経てバンドに加入しているだけあって、実力もハンパじゃない。そしてもう一人、是非とも注目してほしいのが、ギターのチエちゃん。男顔負けのパワーのあるプレイで、実際、私はライブの後半になって、やっと「女性」だと気づいた次第である。並の男よりもずっとカッコイイ。

ところで、彼らのファーストアルバム「Timeless Garden」が二月一日にリリースされた。このアルバム、実は全曲、千年くんの作曲。タイトル名は、「時を超えた音の旅にお誘いしたい」という気持ちからついたもので、それがそのまま伝わってくるスグレたものであることは間違いない。また、ワンサイドシングルで「Lonely Dancer」が発売されてい



87年1月、今はなき新宿ルイードでの東京初コンサート

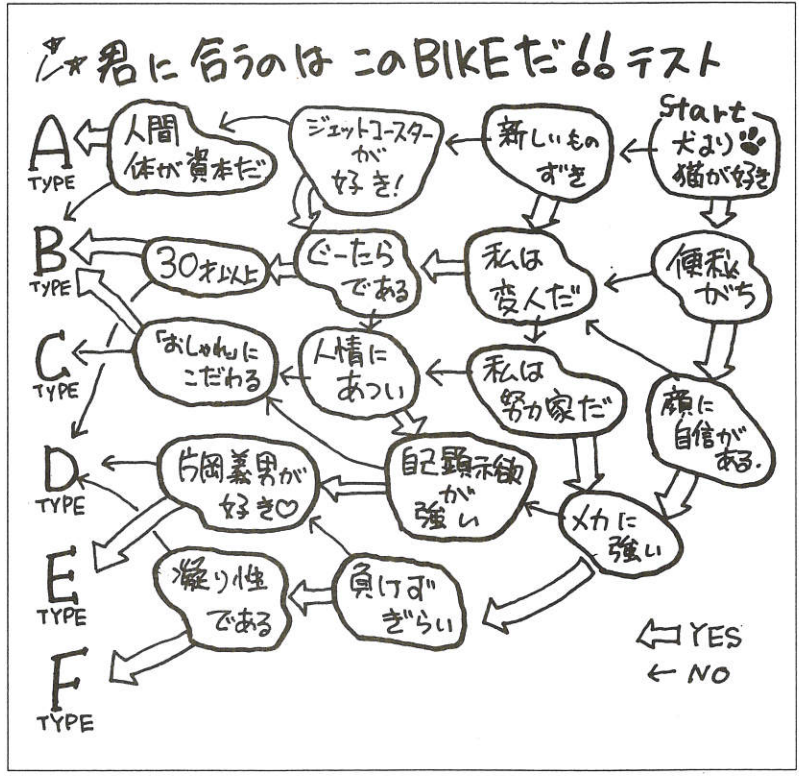
るが、このビデオクリップ、林海家氏のプロデューサーによるものである。御存知ない方のために説明すると、彼は「モノクロ・サイレント作品」夢見るように眠りたい」で、'86年度毎日映画コンクール スポニチグランプリ新人賞」を受賞して注目されている新進気鋭の映像作家。その彼によって作られたこのビデオは、はっきりいって大胆そのもの。特に、千年くんが怪獣の背中から誕生するハイライトシーンなどは、一度見たら忘れられないほどだ。さて、彼らは今、初めてのライブツアー中。機会があったら是非御覧あれ。絶対に損はしませんぞ。

4/12 日比谷野音、5/9 大阪厚生年金ホール、6/18 渋谷公会堂など。問い合わせ (266) 5905

Let's BIKE

「女の子なのにオートバイなんて」などと言われていたのは昔のこと。今やオートバイは日常生活の中で、趣味としてその市民権を得始めました。しかし、一般的な意識では始まったばかり。「オートバイ」と聞いて敬遠する人も多しは。確かに雨の日など、問題の

多いのも事実でもそれらのことを超える何かをライダー達をひきつけるのです。どんな人でもひと度オートバイに乗れば、年齢・性別関係なしの「ライダー」という固有有名詞に変わるのです。こんな素敵なことへ、あなたも仲間入りしませんか？



セピアを超えろ！十六夜組

道に託した俺達の夢

第二のセピアをめざしてホコ天に現れた7人の少年達。――「十六夜組」――平均年齢17歳。
ホコ天では最年少のグループである。彼らが踊りを始めたのは、一世風靡セピアへの憧れからであった。セピアのようにカッコよく踊りたい、芸能界へ入りたい、そんな気持ちでホコ天で踊ることを彼らに決心させたのだった。

現在、メンバーは7名。この先、人数は増やすのかという質問に対して、「人数が増える」と各自の緊張感が消えるので減ることはあっても増えることはありませぬ」と、答える。

最後のひとりになっても踊る覚悟である。



セピアの曲に合わせて踊る十六夜組

という実感を得られればいいんですけど、心の移り変わりを話してくれた。だが、彼らは芸能界への夢を忘れたわけではない。

「確かに芸能界への夢はありますが、俺達は、プロとしてはまだまだ通用しません。それに17歳でまだ若いし、何も急いで芸能界に入る必要はないと思うんです。自分達で納得する踊りができるまでは、誘いがあっても断りますよ」と、一世風靡セピアへの「憧れ」から自分達の「道」を見つけた彼らの決意である。

プロとしては、まだまだ通用しない
初めは芸能界に入りたいとか、人に見られたために踊っていた彼らだが、少しずつ踊ることへの目的が違ってきた。

「今は踊ることが楽しくて仕方がないし、将来、大人になって後を振り返ったときに、俺達はこれだけ踊ったんだ」と、彼らが踊っている振付は彼らのものであるが、どうしても「セピアのものまね」に見えてしまう。「十六夜組独自のものを作り上げることが、今後の大きな課題であろう」。

将来、絶対に大きくなってみせると約束してくれた彼ら。これから先、いろんなことに挑戦して、必ず、その手に自分達の夢をつかんでほしい。

プロデューサーが語る 僕の仕事と芸能人



芸能界を語る市瀬氏

僕はあくまで実像派 人間を作り変えるなんてできないよ

市瀬達弥氏。1952年12月11日生、34歳。朝サンミュージックプロダクション勤務。森田健作、太川陽介などのマネージャーを務めた後、6年前からアイドル歌手早見優のプロデューサーとして活躍する。

「最初は歌手を志して、レッスン生活を送っていたんですが、こんなことやっても仕方がないと思って、マネージャーになったんだけど……。マネージャーといっても、僕の時代は、いわゆる付き人ですからね。タレントの身のまわりの世話だとか、運転だとかやりましたよ」

現在は、早見優さんのマネージャーですが、その仕事内容は？

「マネージャーには、プロデューサー、現場マネージャー、サブマネージャーがあるんだけど、僕の場合はプロデューサーだから、タレントをどんな方向で売り出すかを考えます。たとえば、どんな曲を歌わせるか、お芝居の話がきたらどうするかですね。あ

とは精神面での管理です。どういった考えを持っていか、悩みは持っていないかなど解っていないという方向に導いてあげられないですから」

「デビューしても『スター』になれないタレントへの対処は？」

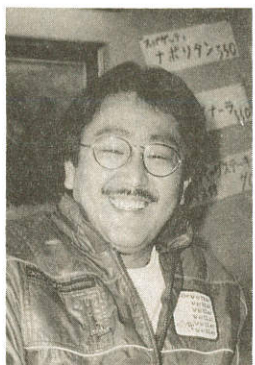
「僕の場合、売れないということがなかったの……。ただ、芸能界って移り変わりが激しいから、僕は方向転換を考えますね。陽介の場合は、歌で一生やっていく人でないと思っただけから早急に転換させましたからね。彼らは人形じゃないんです。人間なんです。売れないからといって、ハイ、サヨナラなんて絶対できないですよ。やはり若い時期に親御さんから預るわけですから無責任なことはいけません」

芸能人だからといって特別扱いはまちがっている
――芸能界は所詮、虚構の世界というイメージがありますが？

「今は作られる時代ではないと思うんですが、昔は、そんなこともあったでしょうが、人間を作り変えるのは、そんなに容易なことではないでしょう。まあ、タレント自身が自分を演出することは

あなたにピッタリのバイクは、これだ！

<p>A あんたは自転車</p> <p>はつきり言って、あなたがバイクに乗ることは「社会の迷惑」です。あなたが走り去った後には、きつと車の残骸が……。だから、あなたは、自転車に気ままに楽しむことをおすすめいたします。</p>	<p>B お手軽スクーター</p> <p>おしゃれにこだわるあなた、最近疲れやすいあなたには、こがずに進め、スクーターでも乗れるスクーターが一番。右手をちょいと動かすだけで、魔法の様に走ります。でも、ヘルメットは、かぶってね。</p>
<p>C 配達用一二五cc</p> <p>質実剛健なあなたは、小回りの小さなボディに、経済性が売りもの一二五ccがピッタリ。都会の渋滞路には、こいつが一番。でっかいだけが能じゃない。ちょっとしたシーリングも楽しめちゃう。</p>	<p>D ギンギン400</p> <p>バイクをほんとうにのしみたいアナタは、ほどよいサイズの四〇〇ccがベスト!!バイクをのりこなすたのしみをおしえてくれるでしょう。さあバイクにまたがり、見知らぬ世界へ旅立とう！</p>
<p>E 余裕の七五〇</p> <p>目だちたがり屋は、公道の王者、七五〇しかない。これに乗ってさえれば、どこでもだれでも注目の的。そして、片岡義男の世界は、君のものだ。さあ、君の行先は、湾岸道路か、京浜島か、はたまた軽井沢の高原か?!</p>	<p>F かつとびレーサー</p> <p>中途半端が嫌いなあなたは、もう究極のライディングを追求するっきゃない。目もくらむ時速250kmの世界……スピードの極限の向こうに、君は何を見るか……。</p>



最後に、今後の芸能界について。
「タレントは夢を与えてくれる職業なのに、スキャンダルによって窮地に追い込む、それでは夢を与えることなどできませんよ。アメリカでは、芸能人の私生活にはノー・タッチなのに対して、日本ではそうでない。やたら騒ぎたてるでしょう。一般人にはもっとちがった目で芸能界を見てほしいですね。そうでない限り日本の芸能界の進歩はもっと遅れるでしょうね」

「インタビューを終えて」

市瀬氏が現われた時、初めての取材に緊張していたため頭がカラッポになってしまった。

それでもどうにかインタビューが始まり、あらかじめ決めておいた話の方向性を考えながら、質問切れにならぬよう努めた。思っていたより大変だった。救いといえば、市瀬氏が質問に対してよく話してくれたことだった。

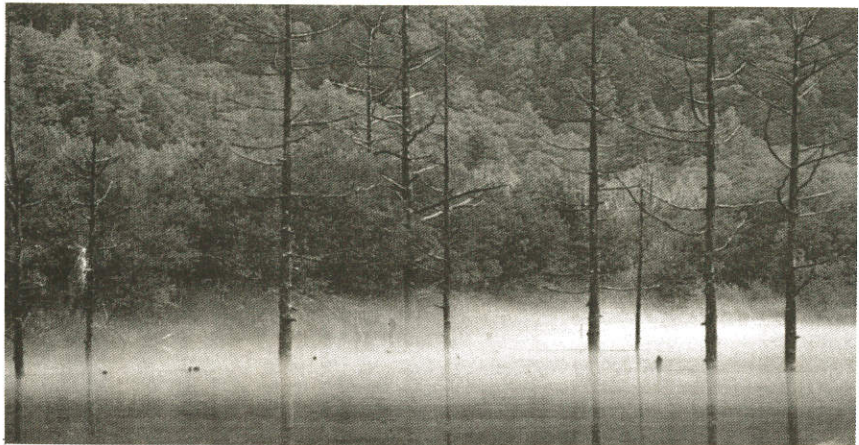
一時間近くして取材が終わる、その場に居た市瀬氏のとこに、早見優さんが来た。私は遠目で早見優さんを見ていた。

彼女は市瀬氏が言われたように、挨拶もすっかりとした普通の人だった。その日の彼女は素顔にジーパンであり、服装も気さくだった。歌手ではなく20歳の女の子であった。

取材を通して芸能界の見方もかなり変わった。と同時に、インタビュー等の大変さがよくわかった。

別れは女を美しくする

人と人との距離を測るものは何でしょう。寂しさや優しさ、愛や憎しみ、その想いの深さでしょうか。春風の匂い立つホームから、私はいま、旅に出る！



花冷え

橋を渡りきらないうちに、Kに別れ話もちだそうと思つた。「さっきお参りした神様、願いを叶えてくださるかしら？」そんなふうに私はきりだした。「さあ……」Kは橋の上から川面をのぞいていた視線を私に向けて、「何を願ひしたの？」と聞いた。その表情に曇った影はなく、むしろすがすがしく感じられた。「葉桜のころまでに君が来てくれるようにって、拜んだんだけど」と言った。もうかなり長い時間、二人は橋の上から川面を見つめていた。雨模様のためか、桜の季節なのに車もほとんど通らず、歩いている人もいない。川面にもやがたちこめて、急な流れも霞んでしまっている。「静かね。静かすぎて、気が遠くなりそうだが」と、私が言ったあとで、しばらく沈

黙が続いていた。「待ってるから……」と、静寂を破るようにKが言った。任地で、後から私が行くのを待っているというKの気持は分っていた。その時ふと、今をはずしたらKと別れられないような気がした。そう思いながら、次に言うべき言葉がみつからなかった。さようなら、と言わねばならないのに、「あら、さっきお参りした神社の屋根が見えるわ」

とKから聞かされたのは二、三日後だった。Kは、バカなヤツだよ、とむしろさばさばしたような口ぶりにみえた。けれども、私はお金の関係と言われたことにKの妻の言いしれぬ憎悪を感じとっていた。一方で、そんなふうにはか思わないその人があわれに思えた。ゆるぎない自分の椅子がある、と信じて疑わないKの妻の、いかにも勝ち誇った表情がうかんだ。

場の噂にもならず、同性の先輩たちにも妬まれずすんだのも、みな同じ理由からであろう。

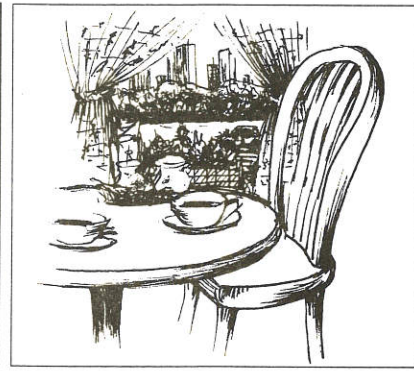
私はTといると楽しかった。Tも、すぐ笑いこける私を「君は楽しい子だね」とおかしがった。恋愛感情などほど遠い、どこまでも平行線上の上司と部下であった。

残業を終わらせて帰りかけた時、Tに「ごくろうさま。夕飯でも一緒に食べよう」と呼び止められた。ためらう私を、「さあ、行こう行こう」と、冷たい風が吹きすさぶ街へと連れ出した。

私たちはレストランの一隅で食事を始めたが、Tはいつになく言葉が少なく、向き合っているのも重苦しかった。やがて「四月から本社に行くよ、まだ誰にも言っていないが……。いろいろと楽しかった」と言って、私の顔を見つめた。本社といえば栄転である。「おめでとうございます」と言いながら、なぜか私の声はふるえた。

その日以来、仕事の引き継ぎなどに追われ一緒にお茶を飲む機会もなかったが、相変わらずやさしい上司だった。四月はすくなくやってきて、Tが東京を発つ日、他の社員と一緒に私も見送りに行った。晴れがましきの中にも、彼の表情のどこかに一抹の翳が走るのを、私は見逃さなかった。

静かに動き出した列車の中で、Tが手を振っているのが窓から見える。見つけていた私の目をすばやく捉えて、Tも見つめ返す。



長良川河畔

「伊吹山へ行かないか」と先生に誘われ、車で出かけた。先生は、私が通う中学へ、新任で赴任してきた体育の先生だった。直接教えてもらったことはないのに、なぜか親しくなって数年になる。駐車場に車を置いて、ロープウェイは使わず歩いて頂上まで登ることにする。山は涼しかったが、登り続きなのでとても汗をかいた。途中、先生は上半身裸になってシャツを着替えた。団体へ出場するラグビーの代表選手だけ

それはまさに、一瞬のことだった。速度を増した列車が見えなくなり、見送りの社員たちもいっしょに雑踏の中に散って行った。踵を返して人の波を行く私の肩に、春の光がやさしかった。遠い昔の秘めた想いが、今もまだ鮮やか……。

あつて、鍛えられた体が眩しかった。頂上にもう一息の急な登り坂で、先生が黙って手を差し出した。私は疲れてはいなかったが、ひっぱってもらいながら登った。あいにく頂上は霧で、展望台からは何も見えなかった。先生がまた手を差し出した。一瞬ためらったけれど、結局恥ずかしさで身を堅くしながら手をつないで歩いた。

しばらく歩くと小さな池があった。脇に石のベンチが見えたので、二人して腰掛けた。端のほうに座ったら、先生が「もつとこちへ来いよ」と言う。先生の言葉だと思つてそばへ寄ると、ふっと肩に腕が回ってきた。あたり一面が霧だった。

ある夜誘われて、車で岐阜の方へ出かけた。突然、「結婚する」と先生が言った。前から相談事のように私に話してはいたけれど、本当に結婚するとは思っていなかった。愕然とした。「結婚するのはやめて！」と思わず口に出した。

「いや、もう結納も決まっているし……」「やめればいいでしょ」「そんなこと、できないよ」しばらく言い争って、長良川の河畔で車を止めた時、私は「いやだー」と言つて目を閉じ、先生の膝に体を伏せてしまった。先生はしばらくじっとして動かなかった。キスしてほしかった。そして何よりも、結婚を取りやめてほしかった。

先生は私を起こして、目を閉じたまま



私の目にキスをした。初めてだった。周りは暗く、遠くに土産物屋の灯だけが赤く見えた。後ろの方で車がクラクションを鳴らし続けていた。「何？」と聞いたら、先生は振り返つただけで「ほつとけばいいよ」と言つて、そのまま私の肩を抱いていた。その後また会つたある日、「伊吹へ行こう、もう一度伊吹へ……」と先生が言った。「先生が結婚するのなら、私は行かない」と、車の中で前を向いたまま答えた。先生は何も言わなかった。黙つて車を運転している先生の横顔を目の隅に捉えながら、私は決心していた。それっきり会わなかった。

これもまた恋？

私が新米社員だった頃、よくお茶に誘つてくれたのは、父親のような年代の上司のTであった。屋休みのひまつぶしなど、ちょっと寛ぐ相手には、子どものような私でちょうどよかったのかも知れない。職

あなたは女流作家になれるか

あなたらしいものに

○をつけて下さい

- 自分のペンネームを考えたことがある。
- 筆記用具にこだわる。
- 愛している人がいる。
- 気がつく人物ウォッチングをしている。
- 自費出版をしたいと思っている。
- 多趣味なほうだ。
- 有名な作家のお墓まいりをしたことがある。
- 自分の書いたものをうっとりと読み直す。
- 世界情勢が気になるほう。
- サイン本を三冊以上持っている。
- 朝の早起きは苦手である。
- VTRを持っている。
- 他人に本を貸すのは嫌いだ。
- ポルノ小説を読んだことがある。
- お酒が好き。
- 小学生の頃お習字を習っていた。
- 書けなくなると自殺をしたくなる。
- ペンだこができています。
- ひとに血液型を聞くのが好き。
- 味にはうるさい方である。
- 古今の直木賞作家を十人以上あげられる。
- 辞書をひくのが好き。
- 集中力がある。
- 電話より手紙のほうが良いと思う。
- 肩こりや腰痛がある。
- 推理小説は嫌いなほう。
- 行きつけのお店が三店以上ある。
- テレビを見ていて泣いたことがある。
- 具合が悪くても薬を飲まないほう。
- 異性と別れ話をしたことがある。
- 視力は悪いほうである。
- 散歩が好き。
- ひとの間違った字にすぐ気がついてしまう。
- 星空を見ているとイメージがわいてくる。
- 大きな夢がある。
- どちらかというと早食いである。
- 「うの」といえば、三人以上の作家の名が浮かぶ。
- 日記の文章にこだわる日がある。
- おだてに乗りやすい。
- ひとりの時間がないと疲れる。

女だてらに、文芸の道をまっしぐらのアナタが、自分でできるテスト！
アナタは果たして現代の清少納言、はたまた紫式部になれるでしょうか？
あの方もこの方も、伝統ある「女性エディター&ライター教室」の、この「文芸度チェック」をくぐって、立派な作家や編集者になられました。
それではアナタも、次の40問に挑戦して下さい！



33
〜26
島田雅彦タイプ
いつまでもお嬢さん作家
夫ほどこだわりもせず、初
の候補になっただけで、夫
よりも先に見事に芥川賞を
獲得して、話題になる。



40
〜34
明石家さんまタイプ
ベストセラー作家
「幸せってなんだっけ、な
んだっけ」とつぶやきなが
ら、「吉本興業の妻たち」
を執筆して、大好評。



7
〜0
林 真理子タイプ
ダイエット書愛読作家
恋愛経験・結婚相手ともに
なく、ただただ飽飲飽食。
『最終便に間に合わない』
という小説も書けない。
オツカレサマ！



16
〜8
田中康夫タイプ
TVのクイズ番組出演作家
毎日毎日、上流意識の平々
凡々の結婚生活。夫に仕え
て、「なんとなくクラシテ
ル」以後、泣かず飛ばず。



25
〜17
三枝成章タイプ
週刊誌の人生相談作家
いつも女性問題で苦しみ、
恋愛小説の題材には事欠か
ない。先妻の子どもにとっ
ても、良き相談相手。

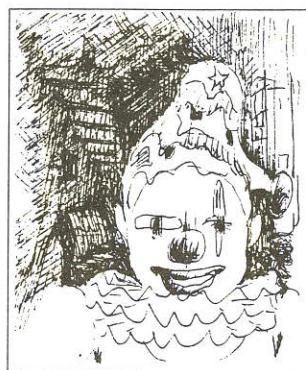
教室のみなさんのアンケートの結果は？

- ◇40〜34(1人) ほとんど恐ろしいまでの文芸度数。
- ◇33〜26(4人) ヤッター、この方々は、まっしぐらに文芸の道を進まれるべきでしょう。
- ◇25〜17(21人) ウフツ、にんまり、このレベルが多かった。この方々は、ハイレクイン・ロマンスの執筆ぐらいが望ましいと思われまます。
- ◇16〜8(6人) 作家というより、単なるミーハーというところ。良き主婦をめざすべきですね。
- ◇7〜0(0人) ヤッパリ！こんな人が、教室に来るわけがない。

ドラマチックな40の質問

—文芸度チェック—

夕食をすませ、彼の部屋に引きあげてくると、急に気分が悪くなった。今日のコンディションには、あのソースののんに効きすぎてしまったらしい。起きていられなくなって、布団にもぐり込んだ。いやな気分の通りすぎるのをじっと待ちながら、夕方からのことを思い返していた。



料理は、とても良かった。大きな皿の真ん中に、こんもりと魚で築いた島があつて、あとは一面のソースの海。ちぎったパンにたっぷりソースを吸わせて、海を減らしていった。たそがれ始めた町並に、ホテルブクロのような街灯が列に首を垂れていた。あれから、もう一軒寄って……。

しゅっ

かすかに聞こえてくる……。彼の口元にグラスを運ぶたびだろうか、硬質な音が何度か鋭くなる。明けりかまた一つ、ぼっとももる。眠っている自分を、もう一人の自分が見下しているような妙な気持がする。ふと、物音が跡絶えた。意識の底で絶えず動いていた彼の気配がびたりと止まり、かえってそれが眠りかけのほんやりした頭に爪をたてる。耳が鋭く探る。突然、スリッパが鳴って、また音がし出した。キッチンの上で、また音がりと切られて、すぐに、しゅっしゅっ音が闇を裂いた。彼がこちらへ来る。いま動いてはいけない、と思いつながらまた、眠りに落ちていた……。

……気がつく、隣では、屈託のないいびきが盛んに行きつ戻りつしている。少し気分もよくなったので、顔を洗いに起きた。冷たい水で眠気を払って、キッチンへ入る。テーブルの上で置いたままにしていたバッグをあけてみる。バッグのジッパーは音もたてずにほどけていく。手首を返す。ジッパーは、しゅっしゅと止まる。あの音！

もう一度、バッグをあける。手帳が一冊。紙幣が数枚入った財布。小型のアドレスノート。空っぽになるまで引き出した通帳の手控えに、すぐ忘れるカードの番号をメモした紙切れ。なくなったものは何もない。ジッパーをしゅっしゅと止め、スイッチを切る。

部屋に戻ると、いつのまにか、いびきは潜めた寝息に変わっている。目を閉じると、さっさと同じ闇が広がって

いく。キッチンの静寂を侵した短い悲鳴が、まぶたの裏の闇を、繰り返して裂き続けている……。

彼が、のそりと寝返りをうった。彼がバッグをのぞいたあの音で、私は、彼のすべてを見てしまったのだ。

鎖編み

「愛しているわよ」という錦の御旗をふりかざして、妻となり母となった女は、生涯に何度、それに続く次のような言葉を夫に突きつけるのか。

「だから、あなたは私だけ愛して」

「仕事と家庭とどちらが大切なのよ」

「なのに、私に隠れて秘密をもって」

「だから、少しは私のことも考えて」

夫はそんな妻に、優柔不断かやさしさからか、いつも無言で対処する。

妻になった女は、男の少しの裏切りをも許さない。妻には、愛し合った二人は永久に愛し続けねばならぬという使命感がある。だが男は、妻のいらだちを知りながらなお、沈黙を続ける。すると妻の愛は次第に憎しみに転じて、エスカレートする。

「どうして、黙っているの」

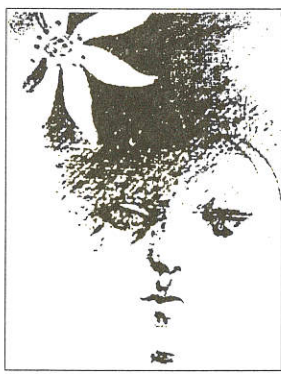
「浮気しているからなのね」

「なぜ、ウソをつくくの」

「殺してやるわ！」

「死んでやる！」

男はそんな妻を愛しながらも、恐れを感じて、妻怖さに時々適度にウソをつく。ところが妻の本能は、男のウソを見抜いてしまう。



十人十色まなざし美人

松里知美 高橋恵智子

そもそもこの始まりは…

メガネが量産されるようになったのは、16世紀のヨーロッパで、その歴史は、ガラス工業の発達と、関連が深い。希少価値の高い高級品。今も昔も変わらぬテレーゼで、貴族が注目し、アクセサリとして愛用を始めた。

この頃になると、同時に印刷術も発達。書物も出回った。

ここで、メガネは知性の証明としての意味合いをもつようになった。この時代の、ヨーロッパ貴族の肖像画には、実にメガネを描き込まれたものが多い。さて、コンタクトはどうだろうか？

第2次大戦後発達したというのだから、メガネに比べ、その歴史は浅い。

そもそもこのニーズは、一生に一度の結婚式に花嫁がメガネをかけているのは、望ましくない。といったようなメガネのマイナスイメージから生まれた産物であったことは、まちがいないよ。うだ。

どっちがよりの美しい？

今や、「目の良い人」もメガネをかける時代。メガネの色・形も多種多様でその人のライフスタイルにあわせて

選択できる。

一方、鼻の上にそんな煩わしいものをのせなくてもコンタクト・レンズを使ってメガネと無縁の生活も送れる。

女性にとって、より美しいライフスタイルとは何か。考えられるコンタクト派とメガネ派のタイプをあげてみた。

♡コンタクト派

●「私ってきれい？」のナルシスト型
自分の美貌に自信のある人。化粧室に足しげく通っては鏡とにらめっこをする。『そうね、やっぱり私のチャームポイントにはばっちりした目かしら』なんて心の中でつぶやきながら、「あなたはこの世で一番美しい」と鏡が答えてくれるまで顔をキャンパスにして、お化粧に励む。

●映画女優あこがれ型

彼と二人きりでいる時、いいムードに盛り上がってきた。見つめ合う二人の瞳に愛の輝きが——とそこでメガネがキラ、となくなってしまったら絵にならない、なんて思う人。二人の愛は直接目で語るものと見栄えのよいラブ・ロマンスを重視する。

●男を勘違いしてます型

ちょっとオツムの足りない女性のほ

うがかわいげがあった男性から好かれると信じている人。メガネをかけて、優等生に見られることを恐れている。いい男を見る目が養われていない。

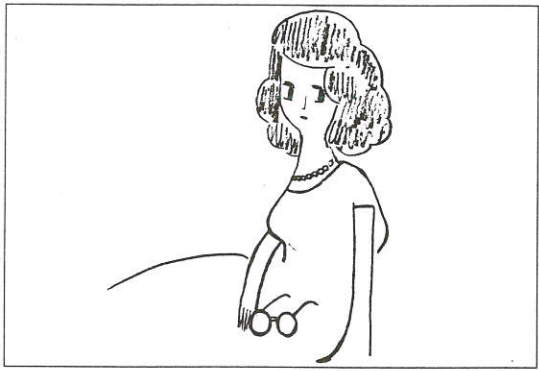
♡メガネ派

●内気なカモフラージュ型

本来の性格と違う自分を表現したい人。例えば、自分の根柢でジトツとした性格を隠すためにヒョウキンメガネをかけて明るく元気に振る舞う。メガネをかけることによって、自分自身に発破をかけている。

●顔の一部にしちゃう型

メガネのイメージをそのまま自分のキャラクターにしてしまう人。何の取り柄もない顔につられて平凡な人生を歩みたくない時、一風変わったメガネ



をしてみる。そのうち、メガネのもつ雰囲気は自分自身そのものになり、メガネなくして自分を語れなくなる。

♡ミックス派

この他にもいろいろなタイプが考えられる。例えば、コンタクト・レンズをしてメガネをかけるタイプ。これなど、メガネは完全にファッションとして使用されることになり、女性の美しいライフスタイルに幅をもたせそう。

どんな女性になりたいか

女性にとって、メガネはマイナスイメージが根強く、嫌われものだったが、使う側の発想の転換によって、新しい役割が生まれてきた。

型にはまった美人像ばかりでなく、個性美人を演出することだったり、イメージを変えるための小道具であったり、という具合にある。

女性美に対するコンプレックスがあるがままに見つめる、そんなパワーが女性にも育ってきたからかもしれない。

いずれにせよ、メガネ美人、コンタクト美人のどちらにもなれる時代。どちらを選ぶかは、自分がどんな生き方をする女性を目指しているのか、を考えることから始まる。

不離婚のすすめ

待つ

結婚、離婚は昔から女性の間では、重大な事件であったし、それは今でも変わらないはずであるが、不倫ばかりや女性の社会進出が目覚ましい今日では、そのウェイトに微妙な変化が生じていることは誰しもが感じていることである。

そこで30歳代の既婚女性の友人たちに、「離婚について考えたことがあるか」と聞いてみた。

★ 子育てで忙しいから、そんなこと考えている暇ないわよ。

★ 日曜日にごうたらしている亭主を見てると嫌になって、わかれようかって考えるけど、やっぱりね。

★ 結婚したばかりの私達にそんな事聞かないでよ。

★ 好きで結婚したんだから、仕方ないんじゃない。

こんな答えの中に、今ご主人の浮気が原因で別居中の女性の話が聞けた。「主人から、愛人ができたって聞かされた時は、まさかと思って聞かされたら、もうまくいっていったと思っていたし、仲間が羨むほど良かったんですもの。結婚して8年、子供がいなくてもあって、いつまでも新婚のような気分だったけれど、反面、家庭の中は変化がなかった。私も責任のある仕事をしていて、家の中に家庭的なものが

なくなっていったのは、事実。二人の間でなんとなく冷たい風が吹いていたのかもしれない。

主人は彼女と別れられないから、私に後ろめたさを感じて一緒に暮らせないと、家を出ていったけど、私への主人の愛情が変わったとは、私には思えない。だから、私は主人の気持ちが変わるまで待つことにした。8年間の結婚生活へのこだわりは、主人を恨んだり、彼女を憎んだりしたけれど、今は仕事に打ち込む時間を作ってくれた主人に感謝する気持ちで、頑張るつもりよ。」

夫婦のことは、他人には計り知れないことばかり。一概に不離婚をすすめることはできないが、彼女のようにご主人を許して、色々な状況が変わることを待つ。一人のほうが気楽だったり、他に自分に合った男性が現れるかもしれない。そんな思いだっているはずだが、8年間の結婚生活は、決して軽いものではないと思う。長い人生の伴侶として共有してきた時間は、夫婦それぞれが影響しあって築きあげた大切なもの。

夫として、妻として、一人の人間にこだわり、関わりあって生きてこそ、深みのある豊かな人生となりうるし、自分が成熟していくことなのだと思う。一見積極的でないそんな生き方は、もどかしさはあるけれど、女性にはそれができるはず。そして私もその道を選ぶだろう。だから私は、不離婚をすすめた。

実る

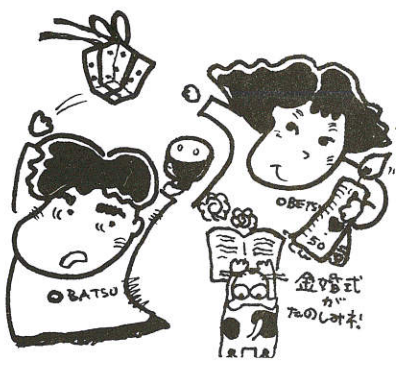
年々離婚がふえている。未婚・非婚女性が多い。

離婚先進国といわれているアメリカのその後の追跡調査では、離婚した一割は幸せ、九割は不幸せという結果であったという。

夢と希望に満ちて結婚した若いカップル、幼児を連れた夫婦、子育てから手の離れた中高年夫妻のあいだでも、ささいな行き違いから離婚へと発展してしまう。

西洋の諺通り、両眼でよく相手を見つたつもりでも、表面的にしか見ていなかった、本当の姿に気がついていなかったと後悔する。

顔形が美しい、背が高い頭もよい。よいことづくめで、見きわめて結婚した、男性、女性、夫として、妻として不向きの人であったと後になって気づ



くことがよくあるケース。これほど容姿・学歴・家柄といった事柄に目を向けて、内面的なものを、見抜く力が弱かった。あれほど好いた好かれた件と一緒になった夫婦でも、現代は、何秒間に何組という数で離婚してしまふ。恋をすれば「死が永遠に二人の愛を分つまで」の愛の誓。晴れやかに一緒になった頃は、いつまでもその愛が続くと信じていた。どのようなことがあっても、絶対に「変らぬ愛」を約束した。二人の愛情も、やがて色あせるときがめぐってくる。浮気、倦怠期を悲しむけれど迎えることが多く、離婚と決めてしまう人が多い。愛が芽ばえた当初の頃と同じ強さで続く保証はどこにあるでしょう。その苦しき、淋しき、侘しきなどを乗り越え、野を越え、山を越えて、河を乗り越えたと同じように、希望・信念を持って、夫と妻と共に、人間として、永遠の中のわずかの一瞬だけではあっても、この結婚を大切に育み、木の根に水をそそぐように深い愛情と努力、創意工夫をほど、寒梅の花のように、寒ければ寒いほど、美しい、見事な素晴らしい花が咲く、人間も梅よりも、さらに美しい大輪の花を咲かせて実りある結婚であるように。何ごとも忍の一字とよくいわれているように忍耐。静かに、ゆっくりと不離婚の足音が聞えてくるようです。

フェミニストをめぐる冒険

あなたの中の
新しい女をさがして……



おんな〈女〉3人寄れば
愛がみ・え・て・く・る

- 桜沢芳子 ●
- 高根富子 ●
- 秋山直美 ●

平和なお正月、いつものように年賀状に目を通して見ると、達筆な毛筆で只ひとこと「幸せになって下さい」という一枚があった。上司からだだった。「均等法」なるものが施行され、少なからず私も、キャリア(だけの!)ウーマンのはしくれとして、仕事は「続けること」なのだと考えてきた。アフターファイブに自分の時間を持つことで、ストレスを解消、充実しているつもりだった。女性の会社の中の立場を、

もう少し認めてもらうためには、自分で歴史を作るしかない……。さんまが歌う「♪幸せって何だっけ何だっけ」。あとに続く場面をどのようにつけていくか、生き方のものを問われているときなのかもしれない。社会人10年目の春、納得のいく生き方をするために出発する時を与えてくれ、今までの言いたい放題を黙って聞き、海外出張のチャンスさえ与えてくれた上司に、今とても感謝している。

♡おんなと仕事と とらばー♡

学生を終えると、多くの女性も就職する。全く新しい世界にとび込むのだから、緊張でいっぱいだろう。やっと一人前として認められ、これからは自分を磨いてゆこう、私の理想の「いい女」になろうと、さまざまな思いで入社してくる。新しいスーツがまぶしく映る。

数ヶ月過ぎると、仕事に疑問を抱き始める。私の仕事はこんなものだったのかと。女性は三、四年周期で、アシスタントのししか思っていない会社は多い。長く勤めるほど、居づらい環境になってゆく。私はこのままでいいのかという思いが頭をかすめる。自分はまだ若い。もっと違う道があるのではないか。そう考えたとき、ふと「とらばーゆ」を手にする。

経営者の立場からすれば、女性は結婚や出産などでいずれば辞めてゆくのだからと単純な仕事しかさせないのだろう。今、働きたい女性はいくらもいる。彼女たちががんばっているのに、安易に転・退職してよいものだろうか。三年四年で皆が辞めてゆけば、いつまでも「女性は消耗品」のままである。転職をして成功した女性も多い。会社内で女性の配置転換が少ないため、仕事を変えるのもよいことかもしれない。いくら仕事をしたところで、次の段階があるわけでもなく、上司に認められない。対人関係も煩わしい。

しかしその時、その環境から逃げてはいけないと思う。同じ辞めるなら、流れに逆らって、強烈なウーマンパワーを見せつけてゆくのはどうだろうか。流されず、自分の意志で動くことが、これからの女性に必要なことであり、最終的には自分にプラスになってゆくはずである。女性が社会的に男性と同等になるには、次の世代、或はその次まで待たなければならぬだろう。今は今をがんばるだけである。

♡女性と仕事と人生と、 トライ・アングル♡

女性が仕事を選ぶとき、自分の能力にあった仕事、自分の適性にあった仕事、自分が望む。適職願望が強い。しかし、望んだ仕事が必要と向いていないかは、実際にやってみなければわからない。好きな仕事や興味を生かせる仕事に就けたとしても、職場での人間関係、昇格(昇給)など、職場環境においての向き、不向きは常に起こってくる。自分に適した仕事を探すには、好きな仕事で最適職と思っても、いろいろな分野にチャレンジしてみることが必要ではないだろうか。

学生時代いろいろなアルバイトをするとか、自分の人生の各段階に合わせてパートタイマーとして働くのも、一つの方法だと思われる。いろいろな仕事を経験し、いろいろな職場をみることによって、徐々に、自分のしたい仕事が見えてくるのでは……。

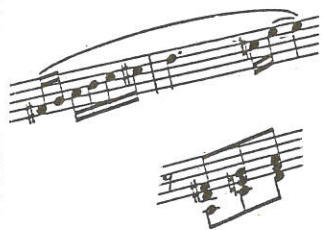
♡夜の海をしなやかに泳ぐ、 人間大好き 人間♡

男社会を裏から支える、夜の店で働く女性。彼女たちの商売道具は、ペンでもなければワープロでもない。身につけてきた知性・教養・立ち振る舞い、その一つ一つが武器である。「色気ともうけだけで勝負していたら今頃はつぶれていたわね」。銀座のネアカママは笑う。店内にハスキーボイスが響く。この声で歌うシャンソンは本場仕込み。やっぱりセクシーなのだ。

「銀座の店には、二種類あるのね。いいお客が集まる有名な店。もう一つは、美人がいて有名な店。色気で勝負したら短期間で終わっていたと思う。」キャリアは、独立してから9年、その前が10年。独立して5年は必死だったけれど、今はすごくいい状態だとか。「私は時には、母親、恋人、お姉さん役になる。男同士にはない、女友だちの話しやすいなものが、あるでしょう。私は人間が好き。おちこんだ時ここに来ると元気が出ると言われることが、一番嬉しいわ。」

一女の酔いは □ドリームボトルから—

多分うちには銀座でもちょっと異質。女性にエラソウな態度をとったりケンカを売ったりするお客には、帰っていただきたいこともあるし。フェミニストなのである。だから、女性のファンも多い。ただ、恋人同



生まれ変わるなら男を選ぶか、女を選ぶか。私なら迷わず女と答えるだろう。まだまだ社会の中では女性は肩身が狭い。好むと好まざるにかかわらず男性に一步譲っている。

「男は仕事だ」と言い聞かせ、仕事ばかりの男性諸氏、家では何もすることもなく「粗大ゴミ」と呼ばれているかもしれない。会社で女性を走らせてばかりの部長サンは、コピー機の前に立つと操作がわからずに血圧を上げていないだろうか。

女性の力は、社会の底辺を支えてきた。今、その力が次々と芽ばえ始めていく。踏まれても踏まれてもたくましく根をはってゆくと生きてゆく。仕事や家庭のみに片寄らない、オールマイティーな女性が、これまでの社会の常識を少しずつ変えてゆくのではないだろうか。

● 女が職場をオリるとき
会社勤めを始め、日常の仕事が一通りこなせるようになり、会社の方針や社風、世の中の見方がみえてくるころ、自分はこの先どうなるか考えさせられる。同僚の女性は結婚し、男性の多くは役職に就いて責任のある仕事をもっている。いくら長く働いていても女性には、地位や賃金といった報酬を与えない企業が多い。ガマンや苦勞もし甲斐がなく、肉体的、精神的にもかなりのストレスがたまってくる。何故こんなにまでして働いていなくてはないのかと思えてくる。

● 女が職場にノボるとき
自分自身の人生や生活設計をもう一度考えてみる。最近、女性が活躍する職業をみると、物質的に豊かな社会を反映してか、消費者に直結した分野が多い。流通業、サービス業、宅配便など運輸業、繊維業界など。新分野の産業や、成長企業では、人材が不足している。女性の登用や人材としての企業教育の機会があるだろう。大企業より、中小企業の方が柔軟性からいっても働き易いかも知れない。とはいえず市場開拓や宣伝といった営業面で女性が活躍しているその先の仕事は男性というところも多い。

● 女が職場で生き残るとき
現在の厳しい職場事情の中で生き残るには、素直な性格で、環境に柔軟であること。また、どんな仕事もこなせるオールマイティー型であることも大切な要素。スペシャリストは強いけれど、



はやりのボク...ウィークデー編

声を出して笑いたい気分の時はこちら。渋谷の「ヒット・パレード」。六本木ケントス・グループの今のところは一番下の弟分。仲間同士、恋人同士行くもよし。もちろん、ひとり孤独に笑うもよし。

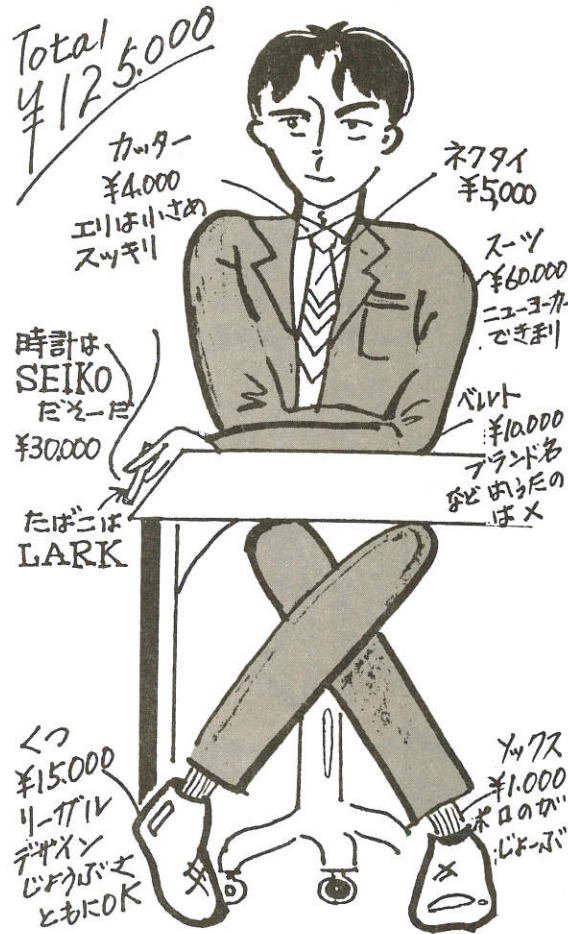
1時間おきに20分程の歌を織り交ぜたコントを披露してくれる。店長の助野さんが作ったコントに企画演出の林さんが少し味(スピード)を加える。桑田もどき・少年隊もどき・ショーケもどきもいてかなりおかし。ここで笑ってもらえない事もあるんです」と林

さん。ケントス・グループにとって渋谷は未開の地。笑いひとつにも研究がある。お客さんの反応を観る林さんの目は真剣だ。「だから笑ってもらうのが幸せなんです。僕はずっとお笑い路線でやってゆきたい。いくら給料もらって笑いのないところでは働けませんよ」は京都人の助野さんの弁。ステージの合間にはお客さんがリクエストした曲を自ら歌える。「ポット店に入って来て、パットとステージに上がったも今の若い人は物おじしいんです」そんな若者のために「ヒット・パレード」は作られている。歌手や

俳優になりたいという従業員の方たちにも、いい修業の場を提供している。もともと音楽屋の林さんだからこそ、そういった若者の気持ちが理解できるのだろう。「飲食屋的感覚で作っていかないのが、逆にいいのじゃないかな」今まで手掛けてきたお店の成功をそう語る。

「ブラック・ミュージックばかり演奏するお店。それから、恋人たちが星空の下でチークを踊れるようなプラネタリウムのお店のディスコとか、ロマンのあるお店を創ってゆきたい」と半ばご自分に言い聞かせるように、目をキラキラと輝かせながら語ってくれた。

「プラネタリウムのディスコとか、ロマンのあるお店を創ってゆきたい」



TIME TABLE

- 7:00 起床。熱いシャワーで目を覚まし、朝食きちんとコーヒー&トースト。ヘアブローもバッチリと。
- 8:00 通勤車中ではハンゲルを勉強!
- 8:45 遅刻は厳禁。今日も1日モーレツ社員。男は仕事で勝負だぜ!
- 12:40 会議が長引き、昼食はアメリカンスタイルでハンバーガーのみ。
- 17:00 ベルサッサなどできるはずもなく、次の予定を気にしつつ、しばし残業。
- 19:00 退社。今日は大学時代のサークル仲間3人で渋谷へくり出す。さぁHit Paradeへ。さんざん飲んで盛り上がり、終電シリ目にもう1杯……。
- 25:00 やっとの思いで拾ったタクシー。

Tel 03-464-7666 6:00PM~
Hit Parade



男だって... 男だから... 私だってひとこと



流行仕掛人

ファッションメーカー「シテイアイク」のオーナーである遠藤博行氏は、デザイナーの気持を次のように語ってくれた。「デザイナーは皆、理想とする人物像があるんです。その人物をイ

メンズノンノ、JJボーイズ、ファッションボーイズ等、去年から男性向けファッション雑誌は創刊ラッシュ。今やおしゃれは女性だけの楽しみではありませぬ。おしゃれに目覚めた男の子たちがおもしろそう。

春のある日の昼下がり に訪ねた彼は...

ファッションの仕掛人、なんて言葉が、あまりそぐわぬ感じのシテイアイク(株)社長、遠藤博行氏なのです。

— 何故ファッションを手掛けるの? —
「モノを創り、モノを売るのが困難なままだから、敢えてチャレンジしたい気持ちと、やはり、自分のイメージの装いを女のひとに着てもらいたい」と

— それは、どんなイメージ? —

イメージして様々なシーンを想定し、TPOに合った服をデザインする。そして、アクセサリや小物、部屋のインテリア、レストランやプレイスボットなど、生活すべてを理想に基づいてデザインするのが夢なのです」と、デザインを決める決め手は? 「まず第一に、パリコレクション情報。第二に、世の中の動き。特に音楽にアンテナを張ります」なるほど、ビートルズが流行った頃は皆、びったりしたタートルセーターにマッシュルームカットでした。「あとはデザイナーの感性ですね。」しかし、一億総オシャレ化に進みつつある現在、服の方はいいのである。問題は環境。「日本の住宅状況などを考えると、なかなか理想通りにはいきませんよ。いくらオシャレしたって、住んでいる家がウサギ小屋じゃねえ」とさびしく笑った。「それに、いくら理想、理想っていったって、売れなきゃビジネスにならないし」確かに……。



「年齢でいうと二十三〜五歳、仕事を持つひとに、ビジネスの場で着てほしいから、主にジャケット&スカートパンツルックになるかな」

— この春の傾向は? —
「フレッシュヤーズが、テラードカラーを避けて、シャネルタイプを好むので、それと、オレンジ・グリーンね」

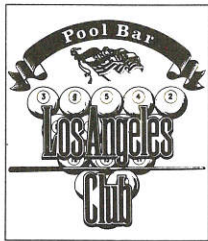
— 流行をどうやって読むの? —
「パリ・コレ情報、音楽の傾向(クラシックが受けている、とかロックがやや下火など)、フォーマルな服が必要なパーティー、ビリヤードの復活、そしてレトロブームなど、総じてファッションが、よりアダルト化していく。たぶんそれは、十代の初めにファッション的に目覚めることが、大きな要因」

— 仕掛人の条件って何? —
「仕掛人、といっても踊ってくれないことには。売れ筋を読むカン、が最も大きいね」

38歳・独身・団塊の世代、大学争乱のバリエードから転身、の彼でした。その日からきみみあたならぬ仏文の二月の花とてヒヤシンス

— 一九六六・バリエードより —

キューにアタック!
(ロスアンゼルス・クラブ)



会員制 入会金 1,000YEN
原宿 402-9990 茗荷谷 818-9990
中野 382-9990 蒲田 730-9990

- 25:45 わが城へ到着。留守番電話に吹き込まれたメッセージをBGMに、明日に備えてグッスリおやすみ...ZZZ
- * * *
- 9:00 はやりの僕は休日だって早起き、ポチと一緒に散歩
- 10:15 習慣の朝のシャワーを浴びた後はスキンケア
- 11:30 ブランチ・タイム オートミールにオレンジジュース
- 14:00 彼女を誘っていざテニス!
- 17:00 評判のエスニック料理で腹を満して夜の部へ
- 20:00 原宿の「ロスアンゼルス・クラブ」でハスラー気取ってビリヤード。
- 23:00 きょうはこの辺でTHE END
明日に備えて早寝を決めこむ。

新開建設(株)第二事業部を一手に担っている新開幸子さんは、美人奥様。と、申し上げてお取締めの肩書を持つ立派な経営者。「私は、若い女性に目を向け、素人としてのとらえ方で、事業展開しているだけなんですヨ。だから試行錯誤を繰り返して、無の怖さ知らずでゴーしちゃって」と、ご謙遜。四店舗は、いつも若者の顔、顔。では、何故新開さんは、ビリヤードに焦点を絞ったのだろう。「既成のスポート、つまりゴルフやテニス等は、素人が気取った服装で、自由な時間に楽しめないでしょう。だから、体力のない人も含めて、陽の当るスポーツに引き上げるのが夢なのヨ」。そう言えば、最近上映された「ハスラー2」で、ポールニューマンの頭脳

とテクニクの鮮やかさが受け、ビリヤードブームは、ますますエスカレートしているが、仲々奥の深いスポーツのようだ。突然、「ただ、営業時間が長いので、管理面では神経を使いつぱなしで」と、ポツリ。難色を示したNHKとの交渉も成立し、今秋より文化講座として取り上げられ、一方では、サントリー(株)をスポンサーに迎え、イベントの実施に踏み切ることまで決定した。近い将来、世界大会を、是非日本で、と夢は膨むばかり。新開さんは、更に、「私は、何かでお客様に還元する姿勢が私共にあると、一時的流行に終わらないと思う」と、きっぱりとおっしゃる。広い店内をゆっくり見渡しなが、最後に、言葉を選ぶように「流行は、お客様が感

心を示す度合で決めるのですから、やる気が第一です」と、おっしゃる新開さんの目は、輝くばかり。どうやら、仕掛人とは、相手(お客様)の求める満足感の追求に終止し、いつも情熱を失わないことが、必須条件のようである。そして、何よりも仕掛人自身が、心が暖かく、他人との関わりを大事にする毎日を送ることが、大前提だということだろう。本来、人が人として、持ち合わせていなければならない人間の基本を、改めて教えられ、ただただ、胸が痛くなるばかりだった。さあ、桜花爛漫。ファッションブルな服装で、グラスを傾けて。爽やかな風と共に、あなたもキューを持ってみませんか?

とかくウワサの美男術

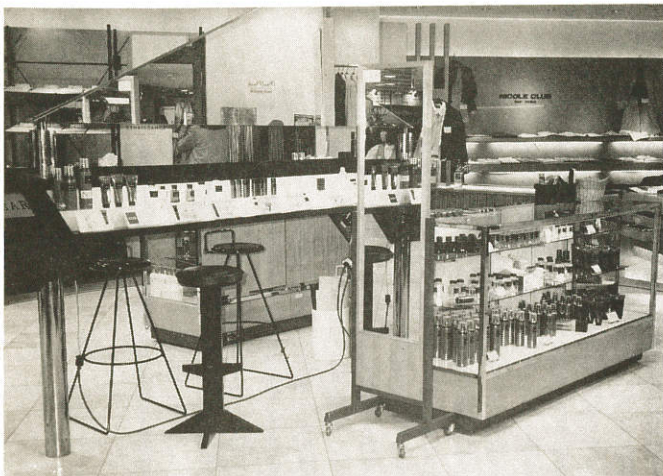
凸 ムツツ、最近では美形のオノコが増えてきて嬉しいわア。
凹 ノーテンキね。近頃の男は就職のために整形したり、モテるために化粧をしたりいろんな技を使ってるのよ。
凸 あ、アタシ知ってる。レーガン大統領なんて、お化粧してるのよね。
凹 海外では、エグゼクティブが会議の前にメイクして、自分に自信をつけるってケースもあるらしいわ。日本じゃ、もっぱら若者が楽しんでるけど、凸 ふうん。ねえ、やっぱり口紅とかアイシャドーとか使ってるの?
凹 その他に、もちろんファンデーションもあるし、アイブローも揃って

る。
凸 きゃー、気持ち悪くてステキ。
凹 ちょっとお、言っときますけど、色はほとんど茶系か黒よ。あくまで「健康的」に見せるのが、男性メイクのポイントなんだから。
凸 なあんだ、色白の肌にルージュの唇なんてカワイイのに。
凹 少なくとも私の好みじゃないわね。ともかく、若い男性が望んでいるのは、「他人より半歩くらい進んでいる」ってことで、一人だけ目立つのも困るってわけ。
凸 男の子って保守的なのね。
凹 そういうこと。だからメーカー側でも戦略を練って、まずは抵抗感の少ないヘアームースのCMを打って見たら、これが大ウケ。
凸 ヘアームースなら、男の子が使っても、ちっとも変じゃないもんね。
凹 これならイケルってことで、資生堂が、人気の陣内孝則を使って、ムース状の洗浄料とか、まっ黒パックなんかの大宣伝をしたら、これまたすごい反響。パックなんて発売後10日で売切れちゃったほどなんだって。
凸 へえ、宣伝効果抜群ってワケね。
凹 その、だから今のところ、人気商品のメインは、パックとか洗浄料、あとはヘアースタイリング関係のもので、メーカーは少派みたい。
凸 ふうん、つまんない。秘かにパッ

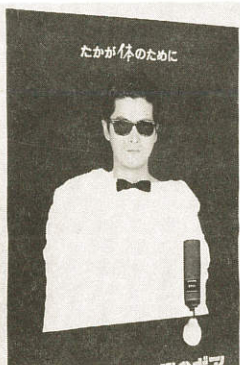
クなんてしたって誰も気づいてくれないのに。
凹 そのが素人のあさはかさ...ヨ。 「9割以上の男のこたはモテるためには清潔感が大切と考えている」っていうアンケート結果があるのよね。だからクレンジングやパックで、脂ぎった感じにならないよう、努力してるの。
凸 男のこって何でケナゲなんですよ。でもアタシ、心配。彼らってお化粧品の使い方、ちゃんと知ってるのかしら。
凹 そのこはメーカー側がばっちりフォローするわけ。高校卒業予定の男子学生対象に各地で美容教室が開かれてるし、メイク法を美容部員が手とり足と教えてくれる、男性専用の化粧品売り場なんていうのもあるのよ。中心は若い人だけど、30代とか、オジ様って感じの人もチラホラ来るんだって。
凸 ー。勇氣あるオジ様、好き!
凹 まあ、男のメイクそのものは、まだこれからって感じね。でも、あのニコルも男性化粧品を発売したそうだから、市場は有望じゃない。
凸 ますます美形が増えるのね。タ・ノ・シミ。
凹 あんたってホント面食いね。

♡平安のブレイボーイはオシャレをするのは当たり前。が、オチがなければもてない。片手落ちでは女にもてないのは昔も今も同じでは...?! (K)
♡はやりのボーヤでも「ジャマイカ族」じゃちょっと頼りない。それ何って?ご自分でお調べあそばせ。(恵)
♡化粧して、素敵な女性と腕を組み...素敵な絵になるな。でも、それがどんな名画でも私は、買わないであろう。男の美学追求中。(淳)
♡自分のやりたい事やってる人というのは、人一倍光って見えます。そんな人達に会って私も輝く!巨人の星の桑田真澄が好き☆ ET
♡男も女も、美しいことは大歓迎!だけど、私は、もう少しメンタルな魅力が欲しいのです。欲張りかしら。(S)

新宿・伊勢丹の男性専用化粧品売り場

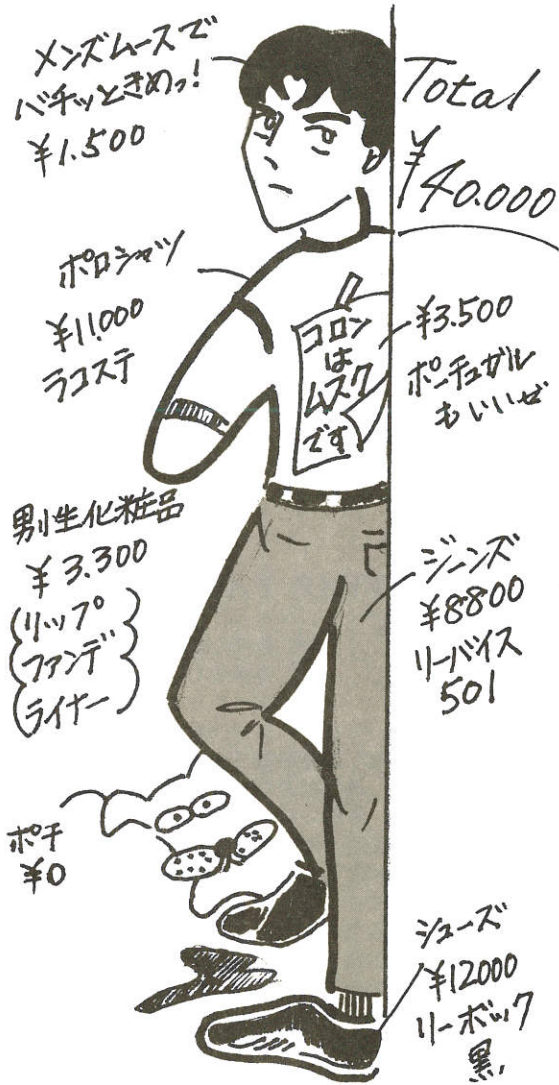


たかが体のために
たかが体のために



ラスト ONE フレーズ

♡ひとりでいい男に逢えませう男性諸氏の努力に期待しまして、お手を拝借。ヨイオ! シャンシャンシャン... : シャン。ゼーもー! (Bu)



編集後記 ひとこと集

※右手に都電モナカ。左手に人形焼。背中にみよぶののミソ漬かつぎ、すっかり私は都電ツウ。(宗定水奈子)

※残業の連続、ダンスに英会話。忙しいばかりで何を修得したか。そう、体力、根気、チームワーク。(岡田恭子)

※週に二日、船橋のネズミが水道橋のネオンに勇気づけられました。春は染井霊園へ。(大野木真由美)

※エディターになることの難しさ、文章を書くことの難しさを、改めて認識させられた教室でした。(村上明子)

※初めての編集経験、仲間たちの指示に従って、手取り足取り教えて頂く、皆さんありがとうございます。(猪狩千江子)

※可能性を追い求めて無限大。走り続けて、「明日に向けて撃て！」皆さん頑張りましょう。(青木仁見)

※いつでも時計とにらめっこ。滑り込んでギリギリセーフの繰り返し。進歩がないな、私って……。(小川千秋)

※取材したおかげでまた荻窪に住みたくなっただけ、家賃の高いこと！薄給の私には高嶺の花ぢや。(国田智子)

※ブランド品を着こなし、キラリ通りに出没する『東京遊牧少女』には結局なれそうもない。(岡田比呂美)

※恋・仕事・ワイン・音楽が活力源。ラグビーに血騒ぎ、ピアノも聴かせるフリーライターの私です。(平野ゆり)

※書けと言われて素直に書いたあゝ。それだけなんです、いけませんか。又明日逢いませんか。(山羊チエミ)

※いやあ、いろいろあった半年間で、どうもありがとうございます。(荻原優美)

※どんなに酔ってたって私は走る事ができる。どんどんどんどん血圧が上がってゆく。プツン！(長谷川幸子)

※顔が衰えてきたので、言葉で勝負する女になりたい。けど締切と字数は、しわを一本増やした。(横倉由紀)

※バイクのページを担当したんだけどなんだかよくわからないまま終ってしまっただけ。ま、いいか。(稲村和代)

※「モータースポーツは？」と言ったのは私ですが、切りに大幅に遅れたのも私です。スママセン。(小澤安子)

※文字でたくさんの人に夢をいっぱいあげらる夢販売人になりたい！とにかく今は無我夢中です。(高橋博子)

※「風にも道」があるように「夢にも道」がある。私の道は、目には見えないけれど迷わず歩きます。(越澤祐子)

※取材や学校の中で出会った人たちからいろいろと学んだり、またずいぶんと刺激させられました。(野坂照子)

※「女性のための」と名付けられたこの講座。まゆつばものと疑っていた私は、ナゴヤ出身です。(半谷亜希子)

※課題はいつも切当日。激務と教室通いで一週間が早く過ぎた。変な人ばかりだったな、こは。(西谷和加子)

※最近妙に精神不安定なのは、一人身だから？ それとも将来に対する不安

から？ なんて、暗いね。(森田珠巳)

※あつという間の時間の中でいろいろなモノを知りました。ゼッタイに自分のモノにします。(柳原いすず)

※編集は頭のジョギング。ライターは知力、体力、想像力。すぐ役立つたくてもいつか光りたい。(宇田川本子)

※右手に鉛筆、左手に電卓。アンケータと行数計算の日々。ドラマチックな40問お気に召しました？(大内福子)

※最終ラウンド全力投球、一人で野次って拍手して、春のうららのライナー球場。結果はいかに！(工藤昭子)

※ご難続きの八七年。気がつけば、あつという間に春の声。されど、おもしろい出会いにっこり感謝。(小林弘美)

※女性エディター教室とライター教室とに分け、実習のみというコースをあつと6ヶ月やりたい。(せの・としこ)

※キャンパスに色をつけるように、原稿に文字を散らす。なんてカッコよくいかず色は濁るのみ。(田代久美子)

※一人で机に向ってしていると、シンシンと音がする。雪の降る音だか、夜の更ける音だか、津津深。(松本千恵子)

※たしなむ程度のはずだったお酒がいつのまにか、のんべえの域に入りそうな気配。誰のせい？(高橋恵智子)

※私にとって文章を書くということは「生まれいづる悩みの種」である。いつか必ず花咲かせたい。(松里知美)

※一人の力はわずかでも、多くの人たちと力を寄せ合って、安心して老後を送れる園を目指す。(林 キヨ子)

※皆さんの熱意にひきまされ、こま

で来ました。新聞の片隅に私の名が：私の一步は今からです。(吉田幸子)

※雑誌を見る側から作る側へ。文章を読む側から書く側へ。もう二度と、他人の批判はできない。(秋山直美)

※フェミニストなどと大それたタイトルは身の程知らずと反省。過渡期の今私も転機を迎えそうです。(桜沢芳子)

※筆致十七文字のれずにあせる春の夜睡魔に襲われ、焦躁に駆られ、迎えた朝。外はまだ暗かった。(高根富子)

※遊び人に遊びのスポット。水を得た魚。取材までは楽しかったなあ……。(江藤清香)

※私の場合、楽しんでおもしろいところをいただいでしまった。チョコだけじゃ足りなかったかしら。(総谷久美)

※知・徳・体。はて、私にはなにが？そろそろ充電期間も満了。数ヶ月後には、人並に名刺を持ち……。(斎藤淳子)

※文章には、狙い、切り口、スクープ、タイミング、感動、の要素が必要。私には、何が足りない？(高橋伸子)

※新進気鋭の意気揚々。他人の批判をシカトして、作る原稿、自画自讃。後は野となれ、山となれ。(舟橋恵子)

※たかが実習誌、されど実習誌……。(堀内美信)

見る・観る・視る・診る

奥田史郎

※以前「頭の中がそのまま文章になる機械があれば、どんなにか楽だろう」と友人に話したら、「頭が空っぽなのがわかったらどうする？」と言われ、考え込んだことがある。

※「文章を書くにはどんな勉強をしたらいいか」と聞かれると、大抵「とにかく、物をよく見ること」と答えることにしている。質問者は呆れ顔だが、本心からそう思う。

※文章の綾よりも「書くべき内容」や「叙述の順序」が大事と考えているせいで、それは「よく物を見ること」によって培われる。感覚的なことを客観化するのも、修練を積み重ねる。

※心の中までみな見えてしまうから、文章を書くことは恥をかくことでもある。自分をいい子にして文章をまとめるのも全然面白くないし、とても人の心をうつ文章にはならない。

※他人の述べたいことがつかめるようになると、編集者としても読者の姿が具体的にたつてくる。球筋の見える打者と同じで、とにかくよく見て、あとはチャンスにうまく打てばいい。

※と、カッコよく言ってみたが、これも人に教えることで学んだことだ。書くことと同様に、教えることも頭の整理に役立つ。が、三期まで担当していても、見えないものがまだある。

めざせ、〇印

河原淳

文芸II班(コラム)写真/イラスト)とウーマンズライフ班を受け持った。メンバー紹介のとき、名簿に酒好きの人は〇、少し飲める人は△、飲めない人は×をつけた。

講義のあと、三崎町の『まんだら屋』で2次会をよくひらいた。平野ゆりさんや長谷川幸子さんは、大の〇印で、文章もイラストもお〇さん。平野ゆりさんが手がけた、荻窪タウンウォッチングは、プロのイラストレーターも顔負けの出来映えである。

エディターやライターは、酒が△や×の人もいるが、おおかたは〇だ。アルコールがストレス解消剤になり、人間関係潤滑剤にもなってくれ。ぼくは35歳の秋に〇印となった。〇おじさんと化し、人格もだいぶんまるやかなり、仕事がふえた。

1期生、2期生、3期生のうちで、3番めの受講生がいちばん可能性に富んでいる。ぼくが編集している『東京新聞』サンデー版『りびんぐらんど』。個性がキラリで、高橋伸子さんと平野ゆりさんに原稿をたのんだ。いざれ依頼したい人が3、4人いる。

この道に卒業はない。たゆみない精進がプロへの確かな方法である。酒も文章も企画力も〇印になり、「個性がキラリ」の人生を送りましょう。

「やりたい、よりも がこれか、出来る！」 大切

小林国男

カタカナ産業、横文字業種がもてはやされるこの頃、コピーライター、デザイナー、ディレクター等に人気が集まっているが、職種は変わろうともや人の真髄は同じ。どんな仕事でも簡単に、労なくして才能を、名声を、「富を手にする事」はできない。表面のカッコ良さだけを見る前に、中身も知ろうとしなくては……。人の知らないところで他人の倍以上の努力と時間を費やして、確実に階段を上ってきた結果だ。一足跳びに頂上をきわめるなどは希。それを知らずに華やかな仕事ぶりを見て、「私も」と挑んでくるのはよいが、理想と現実のギャップの大きさに落胆しないように。それが当り前だし、そこから第一歩が始まるのだから。

「これをやりたい」よりも「これができる」が基本で大切な事。意欲と能力を磨きながらも、義務を果たさなくてはいけない。あまりにもやりたい事は、かがり先走ってしまい、自分から出来る事が何ひとつないのは困る。ライターに、エディターに好きだから職業にしたのならチャレンジする方法は様々にあるはず。一つ一つ機会を経ていけばおのずとチャンスは生まれてくる。「そんな苦労はしたくない！」という人は、飛び込んでくる幸運を気長に待つ事。でも待つ事に慣れてはダメ。

贈る言葉……

加藤文治 (放作協・事業委員長)

「絆」という言葉が好きだ。

——半人前の男女が、愛情という一本の糸に結ばれて、一人前の人間になるようにと互に努力する、それが夫婦の絆というものではないでしょうか……

結婚式の披露宴に招かれると、いつもそんな挨拶をする。何となくもっとならしく聞こえるから有難い。

「絆」そのものの意味からすると、およそデタラメな解釈だが、イト偏にハンと書く字面から思いついたスピッチだ。

六ヶ月間勉強したいといえ、教室の生徒たちにはまだ未熟さが目立つ。一人前のエディター、またはライターになるには、

へもつと斬新な企画力)を養って欲しい。実習誌を見ると、まだまだ既成誌の真似とが目につく。

へもつと文章力)を養って欲しい。諸先生に指導していただいたお蔭で、大部よくなってきたが……

へもつとエディター&ライターとしての自覚)を持って欲しい。時間と約束を守らない人が多い。

——半人前の諸君が、努力という一本の糸に結ばれて、一人前のジャーナリストになろうと互に励ま合おう、それが友情の絆というものです……。

を「贈る言葉」にしよう。